令和４年度学習指導要領実施状況調査　教科等別分析と改善点
（小学校　社会）

１．今回の調査結果の特色

（１）ペーパーテスト調査結果の主な特色

①　今回の改訂の基本方針に関する事項の実現状況、課題等

ア　公民としての資質・能力の基礎の育成に向けて、 問題解決的な学習活動の充実を図る

○　該当する問題は、175 問であり、以下の６つの問題群、12 の具体的事項に分けて分析した。

問題		問題数				
問題群	具体的事項	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	計
資料から問いを見いだす	(ア)資料から問いを見いだす	4		1	2	7
問題解決の見通しをもとうとする	(イ)学習問題を考える		3	1	2	6
	(ウ)予想を立てようとする		1			1
	(エ)解決の見通しをもとうとする	2	3	5	4	14
	(オ)さらに調べることを考えようとする	4	1		3	8
資料から情報を読み取る	(カ)単一の資料から情報を読み取る	5	8	3	5	21
	(キ)複数の資料から情報を読み取る	5	10	8	3	26
社会的事象の特色や意味を考え説明する	(ク)複数の資料を関連付けて考える	7	4	13	4	28
	(ケ)社会的事象の特色や意味を考え説明する	3	7	3	8	21
読み取ったことを基に図や文などにまとめる	(コ)文や図、表などにまとめる	5	4	7	3	19
社会に見られる課題を捉え、社会への関わり方を考えようとする	(サ)社会への関わり方を選択・判断する	4	2	2	1	9
	(シ)よりよい社会を考えようとする	2	5	3	5	15
合　計		41	48	46	42	175

【資料から問いを見いだす問題群】

（ア）　資料から問いを見いだすこと

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「思考・判断・表現」の観点から「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連して、「資料から問いを見いだすこと」を問う問題を出題した。

○　学習問題をつかむ活動において、資料から問いを見いだしているかどうかを見る問題群である。該当する７問のうち、相当数の児童ができているものは２問、課題があると考えられるものは１問である。

○　第３学年「作物の種類と生産量に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［３Ｂ3（１）］の通過率は 85.4%、第５学年「野菜の出荷先までの輸送に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［５Ｂ4（３）］の通過率は 83.3%であり、資料から問いを見いだすことについては相当数の児童ができている。

○　第３学年「産地の分布に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［３Ａ3（１）］の通過率は 79.8%、「緊急時への備えや対応に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［３Ａ5（１）、３Ｂ5（１）］の通過率は 69.8%、72.2%である。

○　第６学年「外国の伝統や文化に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［６Ｂ7（２）①］の通過率は 54.3%であり、疑問を言葉で表現することには課題が見られる。

【問題解決の見通しをもとうとする問題群】

問題解決の見通しをもとうとする問題群である。該当する 29 問のうち、相当数の児童ができているものは７問、課題があると考えられるものは９問である。

（イ）学習問題を考えること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「思考・判断・表現」の観点から「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連して、「学習問題を考えること」を問う問題を出題した。

○　学習問題をつかむ活動において、学習問題を考えているかどうかを見る問題群である。該当する６問のうち、相当数の児童ができているものは１問、課題があると考えられるものは３問である。
○　第４学年「供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して問いを見いだしているか」を問う問題［４Ａ2(１)］の通過率は 93.6%であり、相当数の児童ができている。
○　第４学年「年表や文章資料から、産業の歴史的背景や人々の協力関係などに着目して問いを見いだしているか」を問う問題［４Ａ6(１)］の通過率は、72.7%であり、「供給の仕組みや経路などに着目して問いを見いだしているか」を問う問題［４Ｂ2(２)］の通過率は 74.3%である。
○　第５学年「情報の活用の仕方に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［５Ａ6(１)］の通過率は 53.0%、第６学年「貴族が力をもったころの行事や服装に着目して問いを見いだしているか」を問う問題［６Ａ5(１)］の通過率は 51.6%、「文化や学問の様子や人物の働きに着目して問いを見いだしているか」を問う問題［６Ｂ5(２)］の通過率は 35.1%であり、疑問や予想を基にして学習問題を考えることに課題が見られる。

（ウ）予想を立てようとすること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「主体的に学習に取り組む態度」の観点から「学びに向かう力、人間性等の育成」に関連して、「予想を立てようとすること」を問う問題を出題した。

○　学習問題をつかむ活動において、予想を立てようとしているかどうかを見る問題群である。該当する１問のうち、相当数の児童ができているものが１問である。
○　第４学年「人々の健康を支える事業について予想を立てようとしているか」を問う問題［４Ａ2(２)①］の通過率は 89.1%であり、相当数の児童ができている。

（エ）解決の見通しをもとうとすること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「主体的に学習に取り組む態度」の観点から「学びに向かう力、人間性等の育成」に関連して、「解決の見通しをもとうとすること」を問う問題を出題した。

○　学習問題をつかむ活動において、解決の見通しをもとうとしているかどうかを見る問題群である。該当する 14 問のうち、相当数の児童ができているものは３問、課題があると考えられるものは３問である。
○　第４学年「Ａ市に住む外国人が増えていることとＡ市の取組との関係について解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［４Ｂ6(１)］の通過率は 83.3%、第５学年「学習問題について予想を立て解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［５Ｂ7(２)］の通過率は 81.8%、第６学年「年表中の出来事に着目して、まちの変化の要因について解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［６Ａ8(２)］の通過率は 87.6%であり、相当数の児童ができている。
○　第４学年「人々の健康を支える事業について学習計画を立てようとしているか」を問う問題［４Ａ2(２)②］の通過率は 75.8%、「処理の仕組みについて解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［４Ａ3(３)］の通過率は 78.0%である。第６学年「予想の検証のために必要な情報を選択し、問題解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［６Ｂ5(３)①②］の通過率は 76.7%、77.3%である。
○　第３学年「学習問題について、解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［３Ａ4(１)、

３Ｂ4(１)］の通過率は 44.2%、22.4%、第６学年「予想の検証のために必要な情報を選択し、問題解決の見通しをもとうとしているか」を問う問題［６Ａ8(３)］の通過率は 59.1%であり、予想を確かめるために調べることを見いだそうとするなど学習計画を立てたりして問題解決の見通しをもとうとすることには課題が見られる。特に［３Ｂ4(１)］については記述式であったため、通過率が低くなっているものと考えられる。

（オ）さらに調べることを考えようとすること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「主体的に学習に取り組む態度」の観点から「学びに向かう力、人間性等の育成」に関連して、「さらに調べることを考えようとすること」を問う問題を出題した。

○　学習問題を追究する活動において、振り返ったり見直したりして、さらに調べることを考えようとしているかどうかを見る問題群である。該当する８問のうち、相当数の児童ができているものは２問、課題があると考えられるものは３問である。
○　第４学年「学習したことを振り返ったり見直したりしてさらに調べるべきことを考えようとしているか」を問う問題［４Ａ3(４)］の通過率は 84.1%、第６学年「これまでの学習をふりかえり、さらに調べるべきことを考えようとしているか」を問う問題［６Ｂ3(３)］の通過率は 80.8%であり、相当数の児童ができている。
○　第６学年「目的を意識し、さらに調べるべきことを考えようとしているか」を問う問題［６Ｂ7(３)①］の通過率は 68.6%であり、問題の解決に不十分な事項を見いだすことについては一部課題が見られる。
○　第３学年「ふり返ったり見直したりして、さらに調べるべきことを考えようとしているか」を問う問題［３Ａ3(２)、３Ｂ3(２)］の通過率は 49.6%、56.6%、第６学年「目的を意識し、さらに調べるべきことを考えようとしているか」を問う問題［６Ｂ7(３)②］の通過率は 33.8%であり、学習問題の解決に向けてさらに調べる必要があることを考えようとすることに課題が見られる。

【資料から情報を読み取る問題群】

資料から情報を読み取る問題群である。該当する 47 問のうち、相当数の児童ができているものは 18 問、課題があると考えられるものは３問である。

（カ）単一の資料から情報を読み取ること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「知識・技能」の観点から「知識及び技能の育成」に関連して、「単一の資料から情報を読み取ること」を問う問題を出題した。

○　学習問題を追究する活動において、単一の資料から情報を読み取っているかどうかを見る問題群である。該当する 21 問のうち、相当数の児童ができているものは３問、課題があると考えられるものは１問である。
○　第４学年「ごみは市のきまりに従って処理されていることを理解しているか」を問う問題［４Ａ3(１)］の通過率は 92.0%、「資料を読み取り、過去に起きた自然災害の時期について理解しているか」を問う問題［４Ｂ4(１)］の通過率は 87.7%、第５学年「グラフから漁獲量の減少を読み取り、日本の水産業の様子を理解しているか」を問う問題［５Ｂ5(１)］の通過率は 84.0%であり、相当数の児童ができている。
○　第３学年「市役所の働きを理解しているか」を問う問題［３Ｂ1(３)］の通過率は 78.1%、「図から、地域の人々の取組を理解しているか」を問う問題［３Ｂ6(１)］の通過率は 78.7%、「地図を読み取り、土地利用の様子を理解しているか」を問う問題［３Ａ2(１)］の通過率は 77.2%である。
○　第５学年「地図から自然災害の分布を読み取り、自然災害の発生状況を理解しているか」を問う問題［５Ｂ8(１)］の通過率は 54.2%であり、地図から社会的事象の分布を読み取ることに課題が見られる。

（キ）複数の資料から情報を読み取ること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「知識・技能」の観点から「知識及び技能の育成」に関連して、「複数の資料から情報を読み取ること」を問う問題を出題した。

○　学習問題を追究する活動において、複数の資料を関連付けて情報を読み取っているかどうかを見る問題群である。該当する 26 問のうち、相当数の児童ができているものは 15 問、課題があると考えられるものは２問である。

○　第３学年「グラフを読み取り、市の人口推移の様子を理解しているか」を問う問題［３A7(１)］の通過率は 80.4%、第４学年「資料を読み取り、A町の特色あるまちづくりの取組について理解しているか」を問う問題［４A6(２)①②③④］の通過率はそれぞれ 82.4%、84.2%、83.3%、87.2%、「資料を読み取り、想定される災害に対する備えについて理解しているか」を問う問題［４B4(２)①②］の通過率は 83.9%、94.7%であり、相当数の児童ができている。

第５学年「グラフから稲作にかかる時間の変化を読み取り、生産性が向上していることを理解しているか」を問う問題［５A3(１)②］の通過率は 83.4%、「グラフから原料の輸入の割合や主な輸出品の変化を読み取り、日本の貿易の様子を理解しているか」を問う問題［５A5(１)②］の通過率は 81.0%、「グラフから輸送手段の割合や変化を読み取り、日本の運輸の様子を理解しているか」を問う問題［５A5(２)①②］の通過率は 89.8%、87.1%であり、相当数の児童ができている。

第６学年「温暖化に関する資料から地球温暖化の原因や影響を読み取り、世界規模で起きている環境問題を理解しているか」を問う問題［６A9(１)］、「２つのグラフから人数の変化や国名を読み取り、日本人と外国人の居住状況を理解しているか」を問う問題［６B7(１)］の通過率はそれぞれ 84.8%、83.0%であり、複数の資料を関連付けて情報を読み取ることは相当数の児童ができている。

○　第４学年「県の交通網の様子を読み取り、交通網の特徴を理解しているか」を問う問題［４A1(２)］の通過率は 78.9%、第５学年「グラフから原料の輸入の割合や主な輸出品の変化を読み取り、日本の貿易の様子を理解しているか」を問う問題［５A5(１)①②］の通過率は 78.6%、81.0%である。

○　第３学年「資料を読み取り、消防署の働きを理解しているか」を問う問題［３A6(１)①］の通過率は 53.1%、「資料を読み取り、地域の働きを理解しているか」を問う問題［３A6(１)②］の通過率は 27.3%であり、図式化された資料の読み取りには課題が見られる。

【社会的事象の特色や意味を考え説明する問題群】

社会的事象の特色や意味を考え説明する問題群である。該当する 49 問のうち、相当数の児童ができているものは 20 問、課題があると考えられるものは 15 問である。

（ク）複数の資料を関連付けて考えること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「思考・判断・表現」の観点から「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連して、「複数の資料を関連付けて考えること」を問う問題を出題した。

○　学習問題を追究する活動において、複数の資料を関連付けて社会的事象の特色や意味を考えているかどうかを見る問題群である。該当する 28 問のうち、相当数の児童ができているものは 14 問、課題があると考えられるものは４問である。

○　第３学年「資料を関連付けて、農家の仕事に見られる工夫や努力を考えているか」を問う問題［３A3(３)］の通過率は 87.6%、「販売者の工夫と消費者の願い(商品のよさを知りたい)を関連付けて、売り上げを高める工夫を考えているか」を問う問題［３A4(３)②］の通過率は 80.3%、「資料を関連付けて、他地域や外国から品物を仕入れている理由を考えているか」

を問う問題［３Ｂ4（２）］の通過率は 82.0%、「資料を関連付けて、売り上げを高める工夫（安さ）を考えているか」を問う問題［３Ｂ4（３）①］の通過率は 84.8%であり、相当数の児童ができている。

第５学年「作業時間の縮減と農業機械の利用とを関連付けて、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考えているか」を問う問題［５Ａ3（２）］の通過率は 90.9%、「日本の水産業に関するグラフを関連付けて、水産業の変化を考えているか」を問う問題［５Ａ4（２）①②③］の通過率は 89.0%、81.3%、98.5%、「資料から林業従事者の推移と荒廃林の現状とを関連付けて、日本の森林の課題を考えているか」を問う問題［５Ａ7（２）］の通過率は 83.6%、「資料を関連付けて、生産量が多い理由を考えているか」を問う問題［５Ｂ4（２）①］の通過率は 94.0%、「２つの資料を関連付けて、農業の課題を考えているか」を問う問題［５Ｂ4（４）］の通過率は 81.2%、「複数の資料を関連付けて、工業生産における運輸の働きを考えているか」を問う問題［５Ｂ6（２）①］の通過率は 89.2%であり、相当数の児童ができている。

○　第３学年「販売者の工夫と消費者のニーズを関連付けて売り上げを高める工夫について考えているか」を問う問題［３Ａ4（３）①］の通過率は 62.3%であり、立場の異なる情報を関連付けて考えることには一部課題が見られる。

○　第４学年「資料を関連付けて、保存のための取り組みについて考えているか」を問う問題［４Ａ5（２）］の通過率は 58.3%、「図と説明を関連付けて、水の循環の意味を考えているか」を問う問題［４Ｂ3（３）］の通過率は 49.3%、「２つの資料を比較関連させ、災害から人々を守る活動の働きについて考えているか」を問う問題［４Ｂ4（３）］の通過率は 54.7%であり、図表と文章を関連付けて考えることや図表から読み取ったことを総合して考えることには課題が見られる。

第５学年「消費者や生産者の立場を選び、日本の水産業の発展について多角的に考えているか」を問う問題［５Ａ4（３）ア］の通過率は 59.9%であり、異なる立場から多角的に考えることには課題が見られる。

（ケ）社会的事象の特色や意味を考え説明すること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「思考・判断・表現」の観点から「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連して、「社会的事象の特色や意味を考え説明すること」を問う問題を出題した。

○　学習問題を追究する活動において、社会的事象の特色や意味を考え説明しているかどうかを見る問題群である。該当する 21 問のうち、相当数の児童ができているものは６問、課題があると考えられるものは 11 問である。

○　第４学年「ごみの分別処理の意味を考えているか」を問う問題［４Ａ3（２）］の通過率は 87.2%、「年表とＡさんの話を関連付けて、継承のための取組の意味を考えているか」を問う問題［４Ｂ5（２）①②］の通過率は 93.3%、89.1%であり、相当数の児童ができている。

○　第３学年「資料を関連付け生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考えているか」を問う問題［３Ｂ3（３）］の通過率は 16.7%、「地図と消火設備を関連付けて、消防設備の配置の意図を考えているか」を問う問題［３Ａ5（３）］の通過率は 52.1%、第４学年「資料を関連付けて、節電に協力すべき理由を考えているか」を問う問題［４Ｂ2（３）①］の通過率は 21.5%、「資料を関連付けて、A町の人々が協力しながらまちづくりを進めていることについて考えているか」を問う問題［４Ａ6（３）］の通過率は 27.1%であり、学習したことを関連付けたり総合したりして社会的事象の特色や意味を考え、自分の言葉で表現することに課題が見られる。

「三つの資料から一つを選び、既習事項と関連付けて、節電が必要な理由を考えているか」を問う問題［４Ｂ2（３）②］の通過率は 59．7%であり、根拠や理由を明確にして自分の考えを説明することに課題が見られる。

第６学年「基本的人権の尊重と国民生活との関わりを考えているか」を問う問題［６Ａ2

（2）］、「ご恩と奉公の結びつきと具体的事例とを関連付けて、鎌倉時代の武士の政治体制を考えているか」を問う問題［６Ａ6（３）］の通過率はそれぞれ 38.1％、27.3％であり、用語と具体的な事例を結び付けて、社会的事象の特色や意味を考え説明することにも課題が見られる。

【読み取ったことを基に図や文などにまとめる問題群】

（コ）文や図、表などにまとめること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「知識・技能」の観点から「知識及び技能の育成」に関連して、「文や図、表などにまとめること」を問う問題を出題した。

○　学習問題を追究する活動において、文や図、表などにまとめているかどうかを見る問題群である。該当する 19 問のうち、相当数の児童ができているものは４問、課題があると考えられるものは６問である。

○　第４学年「今後予想される災害に対する備えを理解しているか」を問う問題［４Ａ4（２）］の通過率は 84.9％、第５学年「販売の様子の変化から販売における情報の活用を理解しているか」を問う問題［５Ｂ7（１）］の通過率は 84.8％、「自然災害防止の取組から国土や国民生活を守る対策について理解しているか」を問う問題［５Ｂ8（２）①②］の通過率は 96.4％、96.7％であり、相当数の児童ができている。

○　第３学年「図から、警察署と地域が連携した取組を理解しているか」を問う問題［３Ｂ6（２）］の通過率は 61.4％であり、分かったことを図にまとめることには一部課題が見られる。

○　第３学年「調べたことをまとめ、市の様子の場所による違いを大まかに理解しているか」を問う問題［３Ａ2（２）、３Ｂ2（２）］の通過率は 55.8％、65.2％、第４学年「資料同士を関連付けて、国際交流に取り組む地域の特色を理解しているか」を問う問題［４Ｂ6（２）］の通過率は 25.9％、第５学年「大陸や海洋と我が国との位置関係から、我が国の国土の位置を大まかに理解しているか」を問う問題［５Ａ2（４）］の通過率は 39.5％であり、地図などの資料から読み取ったことの要旨を文でまとめることに課題が見られる。

第６学年「市民、市役所、市議会、国の関係性を図にまとめ、政治の仕組みを理解しているか」を問う問題［６Ａ4（３）①②］の通過率は 49.2％、50.7％であり、資料から読み取ったことを基に図にまとめ直すことに課題が見られる。

【社会に見られる課題を捉え、社会への関わり方を考えようとする問題群】

社会に見られる課題を捉え、社会への関わり方を考えようとする問題群である。該当する 24 問のうち、相当数の児童ができているものは７問、課題があると考えられるものは８問である。

（サ）社会への関わり方を選択・判断すること

今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「思考・判断・表現」の観点から「思考力、判断力、表現力等の育成」に関連して、「社会への関わり方を選択・判断すること」を問う問題を出題した。

○　新しい問いをもつ活動において、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断しているかどうかを見る問題群である。該当する９問のうち、相当数の児童ができているものは２問、課題があると考えられるものは３問である。

○　第４学年「節水や水を汚さないために自分たちに協力できることを考えているか」を問う問題［４Ａ2（５）］の通過率は 88.7％であり、相当数の児童ができている。

○　第３学年「資料を関連付けてお年寄りが暮らしやすい方法を考えているか」を問う問題［３Ａ7（２）①］の通過率は 64.6％、第４学年「災害への備えについて、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしているか」を問う問題［４Ｂ4（４）］の通過率は 63.7％であり、課

題に対して自分ができることを選択・判断することには一部課題が見られる。
　第５学年「生産者や消費者の立場から農業の発展を多角的に考え、自分の考えをまとめているか」を問う問題［５Ｂ4(５)］の通過率は 66.7％であり、立場を基に取組を多角的に考えて記述することには一部課題が見られる。

○　第３学年「地域の人の協力が少なくなっているという課題について、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしているか」を問う問題［３Ａ6(３)］、「事故がなかなか少なくならないという課題について、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしているか」を問う問題［３Ｂ6(４)］の通過率はそれぞれ 43.4％、57.4％、「お年寄りが暮らしやすい市になるために、自分たちにもできることを考えているか」を問う問題［３Ｂ7(２)①］の通過率は 52.5％であり、課題を踏まえ、根拠や理由を明確にして自分ができることを選択・判断しようとすることには課題が見られる。

（シ）よりよい社会を考えようとすること

　今回の学習指導要領の改訂に当たり「問題解決的な学習活動の充実を図ること」が重視されていることを踏まえ、「主体的に学習に取り組む態度」の観点から「学びに向かう力、人間性等の育成」に関連して、「よりよい社会を考えようとすること」を問う問題を出題した。

○　新しい問いをもつ活動において、よりよい社会を考えようとしているかどうかを見る問題群である。該当する 15 問のうち、相当数の児童ができているものは５問、課題があると考えられるものは５問である。

○　第４学年「電気をむだなく使うために自分たちにできることを考えようとしているか」を問う問題［４Ｂ2(４)］の通過率は 85.4％、第５学年「資料から関心のある取組を選択し、森林を守り育てるために、自分たちができることについて考えようとしているか」を問う問題［５Ａ7(３)］の通過率は 85.8％、「優れた技術に着目して、これからの工業の発展について考えようとしているか」を問う問題［５Ｂ6(３)］の通過率は 81.4％であり、相当数の児童ができている。

○　第４学年「年中行事を守り継いでいくために、自分たちが協力できることについて考えようとしているか」を問う問題［４Ｂ5(３)②］の通過率は、62.4％、第６学年「資料をもとに、世界の人々と共に生きていくために、自分たちができることを考えようとしているか」を問う問題［６Ａ9(３)］の通過率は 67.8％であり、学習したことを基によりよい社会やそのための具体的な取組みを考えようとすることに一部課題が見られる。

○　第３学年「これからの市の発展について考えようとしているか」を問う問題［３Ｂ7(２)②］の通過率は 53.8％、第４学年「自分にできる災害への備えについて考えようとしているか」を問う問題［４Ａ4(４)］の通過率は 53.1％、「水を汚さないために、自分たちができることについて考えようとしているか」を問う問題［４Ｂ3(４)］の通過率は 32.2％であり、学習したことを基に自分ができる協力の在り方を考えようとすることに課題が見られる。
　第５学年「資料から読み取った取組を基に、立場を選んで持続可能な水産業の在り方について考えようとしているか」を問う問題［５Ｂ5(３)］の通過率は 53.9％、第６学年「裁判員制度への関わり方を考えようとしているか」を問う問題［６Ｂ2(３)②］の通過率は 47.1％であり、よりよい社会の実現に向けて様々な立場から多角的に考えようとしたり自分ごととして具体的な取組を考えようとしたりすることに課題が見られる。

○　前回調査において「よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎」に関連して、児童の社会的事象への関心を調査した結果が以下の通りである。

学　年	事　項	問題数	関心を示した回答の割合（%）
第４学年	昔の人々のくらし	2	56.9（よく 12.2、ときどき 44.7）
	地域の行事や活動への参加	2	59.0（よく 25.8、ときどき 33.2）
第５学年	我が国の農業	2	51.6（とても 17.0、どちらかといえば 34.6）
	我が国の水産業	2	43.7（とても 14.1、どちらかといえば 29.6）
	我が国の工業	2	51.8（とても 19.0、どちらかといえば 32.8）
第６学年	我が国の伝統や文化	2	56.7（とても 24.1、どちらかといえば 32.6）
	我が国の政治	2	39.5（とても 11.9、どちらかといえば 27.6）
	我が国と外国との関係	2	64.1（とても 27.1、どちらかといえば 37.0）

今回調査においても前回調査同様に以下の通り調査を行った。その結果、第５学年「我が国の農業」に関しては、肯定的な回答の割合に大きな変化は見られない。前回調査及び今回調査において他の事項と比べて関心が高い事項は、前回調査の第６学年「我が国と外国との関係」や今回調査の「世界で起きている問題」である。

一方で、前回調査及び今回調査において他の事項と比べて関心が低いのは、第６学年「我が国の政治」である。今回の改訂で第４学年に新設された「自然災害から地域を守る活動」については、他の事項と比べて関心が高い。

【今回調査】

学　年	事　項	関心を示した回答の割合（%）
第３学年	身近な地域や市区町村の様子	42.8%（とても 18.0%、どちらかといえば 24.8%）
	市区町村の昔の様子	42.4%（とても 20.0%、どちらかといえば 22.4%）
第４学年	都道府県に残る伝統や文化	47.7%（とても 20.4%、どちらかといえば 27.3%）
	自然災害から地域を守る活動	57.9%（とても 26.5%、どちらかといえば 31.4%）
第５学年	我が国の農業	52.7%（とても 17.7%、どちらかといえば 35.0%）
	情報を活用する産業	44.0%（とても 15.4%、どちらかといえば 28.6%）
第６学年	我が国の政治	42.1%（とても 12.3%、どちらかといえば 29.8%）
	世界で起きている問題	65.3%（とても 25.8%、どちらかといえば 39.5%）

イ　中学校社会科への接続・発展を視野に入れて、内容の枠組みと対象を整理し、社会科の特質を踏まえ、内容の改善を図る

○地理的環境と人々の生活

- 第４学年「都道府県の様子」における「自分たちの住む県の地理的位置」に関する問題については、相当数の児童ができている。第５学年「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」における「国土の自然災害」に関する問題については、相当数の児童ができている問題が多いが、「地図から自然災害の分布を読み取り、自然災害の発生状況を理解しているか」を問う問題［５Ｂ８(1)］については、課題が見られる。
- 第５学年「我が国の国土の様子と国民生活」における「地球儀の特徴」等に関する問題については課題が見られる。

○現代社会の仕組みや働きと人々の生活

- 第５学年「我が国の工業生産」における「貿易や運輸」に関する問題については、相当数の児童ができている。
- 第６学年「我が国の政治の働き」における「日本国憲法の基本的な考え方」に関する問題については相当数の児童ができている一方、「日本国憲法の基本的な考え方の具体例（基本的人権の尊重と国民生活との関わり）」、「裁判員制度とその意義」、「政治の仕組みと国民生活の関連」、「国や地方公共団体の政治の働き」に関する問題については、課題が見られる。

○歴史と人々の生活

- 第６学年「我が国の歴史上の主な事象」における「明治以降の歴史上の人物と業績」のうち、同時期に活躍した人物の理解に引き続き課題が見られる。

② 各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）の実現状況、課題等

ア 今回の改訂で新設された事項

今回の改訂で、新設した事項の中で、以下の事項について調査した。

（ア）内容として新たに位置付けられた事項（内容のまとまり）

学　年	新設事項	問題番号	問題数
第３学年	「市の様子の移り変わり」	３A7(1)(2)①②、３B7(1)(2)①②	6
第４学年	「自然災害から人々を守る活動」	４A4(1)(2)(3)(4)、４B4(1)(2)①②(3)(4)	9
	「国際交流に取り組む地域」	４B6(1)(2)	2
第５学年	「情報を生かして発展する産業」	５A6(1)(2)①②(3)、５B7(1)(2)(3)①②	8

○ 「市の様子の移り変わり」【第３学年内容(4)】

・ 該当する６問［３A7(1)(2)①②、３B7(1)(2)①②］のうち、相当数の児童ができているものが１問、課題があると考えられるものが２問である。お年寄りが暮らしやすい市になるために、自分たちにもできることを考えて記述することや、これからの市の発展について考えて記述することについては、課題が見られる。

○ 「自然災害から人々を守る活動」【第４学年内容(3)】

・ 該当する９問［４A4(1)(2)(3)(4)、４B4(1)(2)①②(3)(4)］のうち、相当数の児童ができているものが４問、課題があると考えられるものが２問である。今後予想される災害に対する備えについて理解することについては、４問中３問で80%を超えており、相当数の児童ができているが、自分にできる災害への備えについて考えようとする態度については、課題が見られる。

○ 「国際交流に取り組む地域」【第４学年内容(5)】

・ 該当する２問［４B6(1)(2)］のうち、相当数の児童ができているのが１問、課題があると考えられるものが１問である。資料同士を関連付けて、国際交流に取り組む地域の特色について２つの言葉を使って文章で記述することについては、課題が見られる。

○ 「情報を生かして発展する産業」【第５学年内容(4)】

・ 該当する８問［５A6(1)(2)①②(3)、５B7(1)(2)(3)①②］のうち、相当数の児童ができているのが２問、課題があると考えられるものが１問である。情報の活用の仕方に着目して問いを見いだそうとする態度については、課題が見られる。

（イ）内容として新たに位置付けられた事項

学　年	新設事項	問題番号	問題数
第３学年	「市役所の働き」	３A1(3)、３B1(3)	2
	「他地域や外国との関わり」	３A4(2)、３B4(2)	2
	「売り上げを高める工夫」	３A4(3)①②、３B4(3)①②	4
第５学年	「価格や費用」	５A3(4)	1
	「貿易や運輸」	５A5(1)①②(2)①②、５B6(1)(2)①②	7
	「優れた技術」	５B6(3)	1
	「自然災害」	５B8(1)(2)①②	3
第６学年	「災害からの復旧や復興」	６A4(1)(2)(3)①②	4
	「世界とのかかわり」	６A6(2)、６B4(1)(2)(3)①②	5

○ 「身近な地域や市区町村の様子」（市役所の働き）【第３学年内容(1)】

・ 該当する２問［３A1(3)、３B1(3)］の通過率は、73.7%、78.1%である。

○ 「地域に見られる販売の仕事」（他地域や外国との関わり）【第３学年内容(2)ア(イ)イ(イ)】

・ 該当する２問［３Ａ４(2)、３Ｂ４(2)］のうち、相当数の児童ができているものが１問

である。資料を関連付けて、他地域や外国から品物を仕入れている理由を考えることについては、相当数の児童ができている。

○ 「地域に見られる販売の仕事」（売り上げを高める工夫）【第３学年内容（２）ア（イ）イ（イ）】

・ 該当する４問［３Ａ４（３）①②、３Ｂ４（３）①②］のうち、相当数の児童ができているものが２問である。資料を関連付けて、値段に着目して売り上げを高める工夫を考えることについては、相当数の児童ができている。

○ 「我が国の農業や水産業における食料生産」（価格や費用）【第５学年内容（２）ア（イ）イ（イ）】

・ 該当する１問［５Ａ3（４）］の通過率は、62.4％である。

○ 「我が国の工業生産」（貿易や運輸）【第５学年内容（３）ア（ウ）イ（ウ）】

・ 該当する７問［５Ａ5（１）①②（２）①②、５Ｂ6（１）（２）①②］のうち、相当数の児童ができているものが４問である。日本の貿易の様子や工業生産を支える運輸の働きの理解については、相当数の児童ができている。

○ 「我が国の工業生産」（優れた技術）【第５学年内容（３）ア（イ）イ（イ）】

・ 該当する問題１問［５Ｂ6（３）］については、相当数の児童ができている。

○ 「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連（自然災害）【第５学年内容（５）ア（ア）イ（ア）】

・ 該当する３問［５Ｂ8（１）（２）①②］のうち、相当数の児童ができているものが２問、課題があると考えられるものが１問である。自然災害防止の取組から国土や国民生活を守る対策についての理解については、相当数の児童ができているが、地図から自然災害の分布を読み取り、自然災害の発生状況を理解することについては、課題が見られる。

○ 「国や地方公共団体の政治の働き」（災害からの復旧や復興）【第６学年内容（１）ア（イ）イ（イ）】

・ 該当する４問［６Ａ4（１）（２）（３）①②］のうち、課題があると考えられるものが３問である。災害からの復旧や復興に向けた国の取組と県や市の取組を関連付けて、政治の働きを考えることについては、課題が見られる。

○ 「我が国の歴史上の主な事象」（世界との関わり）【第６学年内容（２）内容の取扱い（２）オ】

・ 該当する５問［６Ａ６（２）、６Ｂ４（１）（２）（３）①②］のうち、相当数の児童ができているものが１問である。

（ウ） 目標として新たに位置付けられた技能

○ 「地球儀の活用」【第５学年・第６学年目標「知識及び技能」】

・ 該当する３問［５Ｂ3（１）（２）（３）］のうち、課題があると考えられるものが２問である。経線についての理解や地球儀の特徴の理解については、課題が見られる。

イ 今回の改訂で学年及び学校種を超えて移行した事項

移行前	移行後	移行した事項	問題番号	問題数
第３学年 及び第４学年	第４学年	「県内の伝統や文化」	５Ａ5（１）（２）（３）①② ５Ｂ5（１）（２）①②（３）①②	9
第６学年 内容（３）イ	第６学年 内容（３）ア（ア）	「国際交流の果たす役割」	６Ｂ7（１）（２）①②アイ（３）①②	6

○ 「県内の伝統や文化」【第４学年内容（４）】

・ 該当する問題９問［４Ａ5（１）（２）（３）①②、４Ｂ5（１）（２）①②（３）①②］のうち、相当数の児童ができているものが２問、課題があると考えられるものが１問である。年表と話の資料を関連付けて、継承のための取組の意味を考えることについては、相当数の児童ができているが、グラフと話の資料を関連付けて，保存のための取り組みについて考えることについては、課題が見られる。

○ 「国際交流の果たす役割」【第６学年内容（３）ア（ア）】

・ 該当する６問［６Ｂ7（１）（２）①②アイ（３）①②］のうち、相当数の児童ができているものが３問、課題があると考えられるものが２問である。日本の伝統や文化について、例を挙

げて伝えようとすることについては、相当数の児童ができているが、外国の伝統や文化に着目して、問いを見いだすことや目的を意識し、さらに調べるべきことを考えようとすることについては、課題が見られる。

③ 従来、課題とされている事項の実現状況、課題等

ア 用語等の知識に関すること

○ 自分たちの住む県（都、道、府）の地理的位置【第４学年内容(１)ア(ア)イ(ア)】

・ 自分たちの住む県の地理的位置については、該当する２問［４A7(１)、４B7(１)］について、相当数の児童ができている。

○ 47 都道府県の名称と位置【第４学年内容(１)ア(ア)イ(ア)】

※ 47 都道府県については、平成 10 年改訂の『小学校学習指導要領社会』の「各学年にわたる内容の取扱い」において、「各学年において、地図や統計資料などを効果的に活用し、次第に都道府県の構成について分かるようにすること」と示された。平成 20 年改訂の『小学校学習指導要領社会』において、新たに第３学年及び第４学年の内容(６)アに位置付けられた。さらに、平成 29 年改訂の『小学校学習指導要領社会』において、第４学年の内容(１)ア(ア)、イ(ア)に位置付けられた。

・ 47 都道府県の名称と位置については、該当する 47 問のうち、相当数の児童ができているものが７問（前回３問）、課題があると考えられるものが 13 問（前回 27 問）である。

第６学年を対象とした特定の課題に関する調査（平成 18 年度）や前回の学習指導要領実施状況調査の結果と比べると、通過率 60%以上の都道府県が増加する（※平成 18 年度：12 問、平成 24 年度：20 問、令和４年度：34 問）など改善傾向にあるが、引き続き課題が見られる。

特定の課題に関する調査 平成 18 年度（第６学年対象）	平成 24 年度（第４学年対象）	令和４年度（第４学年対象）
北海道(99.9)、青森県(93.8)、 新潟県(82.0)、沖縄県(96.4)	北海道(98.1)、青森県(91.9)、 沖縄県(92.2)	北海道(99.1)、青森県(93.6)、 岩手県(81.7)、秋田県(80.2)、 新潟県(83.3)、千葉県(84.8)、 沖縄県(95.3)
岩手県(70.3)、秋田県(68.0)、 千葉県(67.1)、東京都(73.9)、 石川県(60.2)、静岡県(61.2)、 大阪府(61.2)、鹿児島県(71.8)	岩手県(77.4)、宮城県(64.2)、 秋田県(76.8)、山形県(64.7)、 福島県(71.5)、茨城県(61.8)、 埼玉県(64.2)、千葉県(70.0)、 東京都(72.5)、大阪府(60.0)、 神奈川県(60.5)、新潟県(77.6)、 石川県(62.0)、長野県(66.2)、 静岡県(61.8)、鹿児島県(72.0)、 富山県(60.0)	宮城県(67.4)、山形県(66.3)、 福島県(71.0)、栃木県(64.1)、 茨城県(63.7)、埼玉県(64.3)、 東京都(77.2)、山梨県(61.0)、 神奈川県(62.0)、富山県(64.9)、 石川県(66.2)、長野県(70.7)、 静岡県(67.2)、愛知県(62.9)、 三重県(61.3)、滋賀県(61.3)、 大阪府(62.8)、和歌山県(61.1)、 兵庫県(68.1)、広島県(60.9)、 山口県(64.8)、鳥取県(61.7)、 高知県(63.1)、福岡県(60.7)、 長崎県(62.4)、宮崎県(61.5)、 鹿児島県(72.9)
宮城県(50.7)、山形県(52.7)、 福島県(53.1)、茨城県(54.2)、 栃木県(48.1)、群馬県(48.8)、 埼玉県(58.8)、神奈川県(56.4)、 富山県(49.7)、福井県(41.4)、 山梨県(44.5)、長野県(59.3)、 岐阜県(46.1)、愛知県(55.6)、 三重県(45.7)、滋賀県(56.6)、 京都府(50.7)、奈良県(48.4)、 和歌山県(46.6)、兵庫県(51.6)、	群馬県(58.1)、栃木県(57.2)、 福井県(51.8)、山梨県(53.6)、 岐阜県(51.3)、愛知県(59.1)、 三重県(53.0)、滋賀県(54.8)、 京都府(55.7)、兵庫県(55.4)、 奈良県(50.0)、宮崎県(50.2)、 和歌山県(53.1)、鳥取県(52.7)、 島根県(52.7)、岡山県(47.1)、 広島県(52.4)、山口県(57.9)、 徳島県(49.6)、香川県(54.8)、	群馬県(58.7)、福井県(58.4)、 奈良県(56.4)、岐阜県(55.6)、 京都府(57.7)、島根県(52.3)、 岡山県(52.6)、愛媛県(53.7)、 香川県(59.2)、徳島県(59.1)、 大分県(55.3)、佐賀県(48.4)、 熊本県(58.2)

鳥取県(42.7)、島根県(39.9)、 岡山県(42.1)、広島県(49.8)、 山口県(50.8)、徳島県(40.2)、 香川県(50.1)、愛媛県(44.7)、 高知県(53.5)、福岡県(42.7)、 佐賀県(45.2)、長崎県(50.7)、 熊本県(46.8)、大分県(43.9)、 宮崎県(41.8)	愛媛県(51.0)、高知県(57.2)、 福岡県(52.1)、佐賀県(49.5)、 長崎県(49.4)、熊本県(58.2)、 大分県(54.6)	

○　方位や主な地図記号【第３学年内容（１）内容の取扱い（１）イ】

・　方位については、該当する４問［３Ａ1（１）①②、３Ｂ1（１）アイ］のうち、相当数の児童ができているものが１問、課題があると考えられるものが１問である。四方位の理解については、南北の知識に比べ、東西の知識が身に付いていない。

・　地図記号については、該当する６問［３Ａ1（２）アイウ、３Ｂ5（２）アイウ］のうち、相当数の児童ができているものが４問である。主な地図記号の理解については、消防署、警察署、博物館、神社については相当数の児童ができているが、田・畑などの土地利用に関わる知識については、一定程度の児童ができているにとどまっている。

○　世界の主な国の名称と位置、領土の範囲【第５学年内容（１）ア（ア）イ（ア）内容の取扱い（１）】

・　世界の主な国の名称と位置については、該当する４問［５Ａ1（１）アイウエ］のうち、相当数の児童ができているものが２問、課題があると考えられるものが２問である。世界の主な国の名称と位置の理解ついては、ロシア、アメリカ合衆国については相当数の児童ができているが、イギリス、ブラジルについては課題が見られるなど、国ごとに理解のばらつきが見られる。

・　領土の範囲についての理解については、該当する６問［５Ａ2（１）（２）（３）、５Ｂ2（１）①②（２）］のうち、課題があると考えられるものが５問である。領土の範囲についての理解については、課題が見られる。

・　地図帳の活用と緯度・経度については、該当する１問［５Ｂ2（３）］について、課題があると考えられる。

○　明治以降の歴史上の人物と業績【第６学年内容（２）内容の取扱い（２）】

・　明治以降の歴史上の人物と業績については、該当する４問［６Ｂ6（１）アイウエ］のうち、課題があると考えられるものが３問である。伊藤博文、陸奥宗光、小村寿太郎といった明治以降の人物と業績や歴史的事象を関連付けて理解することについては、課題が見られる。

○　我が国の政治の働き【第６学年内容（１）内容の取扱い（１）】

・　日本国憲法の基本的な考え方についての理解は、該当する３問［６Ａ2（１）、６Ｂ1（１）（２）］のうち、相当数の児童ができているものが２問であり、日本国憲法の基本的な考え方については、相当数の児童ができている。

・日本国憲法と国民生活との関連を考えることについては、該当する２問［６Ａ2（２）、６Ｂ1（３）］のうち、課題があると考えられるものが１問であり、基本的人権の尊重と国民生活の関わりを考えることについては、課題が見られる。

・　政治と国民生活との関連を考えることについては、該当する３問［６Ａ3（２）、６Ｂ2（２）、６Ｂ3（２）］のうち、課題があると考えられるものが２問であり、政治の仕組みと国民生活とを関連付けて国民の政治との関わり方を考えることや、制度と国民生活とを関連付けて裁判員制度の意義を考えることについては、課題が見られる。

○　国民の祝日【第６学年内容（１）内容の取扱い（１）エ】

・　国民の祝日の意義の理解について、該当する２問［６Ａ1（１）ア（敬老の日）イ（文化の日）］について、相当数の児童ができている。

イ　基礎的な技能

○　地図から情報を読み取り適切にまとめること

・　地図から情報を読み取り適切にまとめることについては、該当する 14 問［３Ａ1(１)①②、３Ａ2(１)、３Ａ5(３)、３Ｂ2(１)、４Ａ1(１)(２)、４Ｂ1(１)(２)(３)、５Ａ5(３)①、５Ｂ2(３)、５Ｂ8(１)、６Ａ6(２)］のうち、相当数の児童ができているものが１問、課題があると考えられるものが６問である。地図から情報を読み取り、理解することや、地図から情報を読み取り適切にまとめることについては、課題が見られる。

（２） 質問調査について

① 質問調査の結果のポイント

○ 児童質問紙調査について

・ 「社会科の学習が好きだ」「社会科の学習をすればふだんの生活や社会に出て役立つ」「社会科の授業がどの程度わかりますか」という質問に対する肯定的な回答の割合が、第４・５・６学年において前回調査より高くなっている。

・ 問題解決的な学習過程の各場面に関する質問に対する「できる」「どちらかといえばできる」という肯定的な回答の割合は、前回調査を上回るものが多く、問題解決的な学習への意識は浸透してきていると考えられる。

・ 「パソコンやタブレットなどのコンピュータを使うことができますか」という質問について「できる」「どちらかといえばできる」という肯定的な回答の割合が高い。

○ 教師オンライン質問調査について

・ 「児童の疑問を引き出すような資料提示の方法を工夫すること」「学級全体で追究、解決する問題（学習問題）を決めて授業を行うこと」「それぞれ調べたことを学級全体で共有すること」「調べたことや考えたことについて、根拠や理由を説明すること」などの指導については、「そうしている」「どちらかといえばそうしている」という肯定的な回答の割合が高い。

・ 「児童が予想に基づいて調べる計画を立てる」「問題やテーマを決めて、討論する」「他の立場から考えたり他の情報と比べたりして考える」「児童一人一人の追究活動を個別に指導する」などの指導については、「そうしている」という肯定的な回答の割合が他の項目に比べて低い。

・ 「学習したことをもとに、社会への関わり方を選択・判断したりする」「社会的事象の見方・考え方を意識して指導する」などの指導については、「そうしている」という肯定的な回答の割合が他の項目に比べて低い。

・ 「タブレットなどコンピュータを活用した授業を行うこと」については、肯定的な回答の割合が高く、積極的に活用していることがうかがえる。

② 質問調査の結果の概要

ア 児童質問紙調査

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
社会科の学習が好きだ	第３学年	35.1	34.2	15.4	8.1	7.1
	第４学年	32.1	32.2	17.4	11.3	6.9
	第５学年	29.5	32.3	19.7	12.0	6.5
	第６学年	35.8	29.1	17.1	12.1	5.8
社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ	第３学年	58.4	28.1	6.5	2.6	4.4
	第４学年	53.0	31.4	7.8	3.5	4.3
	第５学年	49.9	33.9	7.9	3.3	4.9
	第６学年	44.7	37.2	8.8	4.0	5.3
児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	よくわかる	だいたいわかる	わかることとわからないことが半分くらいずつある	わからないことが多い	ほとんどわからない
社会科の授業がどの程度わかりますか	第３学年	35.7	38.9	19.0	4.0	2.4
	第４学年	37.8	38.7	17.3	4.1	2.2
	第５学年	33.2	42.2	19.2	4.2	1.2
	第６学年	32.1	38.9	22.4	4.9	1.7

○　「社会科の学習が好きだ」、「社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ」という質問に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」という肯定的な回答が前回調査よりも高くなっている。「社会科の授業がどの程度わかりますか」という質問に対して、「よくわかる」、「だいたいわかる」という肯定的な回答の割合も前回調査よりも高くなっている。

○　「社会科の授業がどの程度わかりますか」という質問や、「社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ」という質問に対する肯定的な回答の割合の方が、「社会科の学習が好きだ」という質問に対する肯定的な回答の割合よりも各学年共に高い。

児童質問紙調査	回答の割合（%）				
	学　年	好きだ	どちらかといえば好きだ	どちらかといえば好きではない	好きではない
学習問題の解決のためにみんなで調べたり考えたりすることは好きですか。	第３学年	51.9	32.8	11.5	3.8
	第４学年	45.7	34.2	14.5	5.7
	第５学年	40.6	36.7	16.5	6.1
	第６学年	38.9	36.9	17.3	6.9

○　「学習問題の解決のためにみんなで調べたり考えたりすることは好きですか。」という質問に対して、「好きだ」と肯定的に回答した割合が、前回調査における同様の質問に対する肯定的な回答の割合（前回：第４学年：26.9%、第５学年：24.4%、第６学年：27.2%）よりも各学年共に高い。

○　肯定的に回答した割合は第３学年が一番高く、第６学年が一番低い。

児童質問紙調査	回答の割合（%）				
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない
資料などから疑問を見つけたり問いをつくったりすることができますか。	第３学年	23.6	50.4	21.1	4.9
	第４学年	28.1	48.2	19.0	4.7
	第５学年	27.7	49.3	18.8	4.1
	第６学年	29.5	48.1	18.7	3.7
学習問題に対してみんなで予想を立てたり、学習の計画を立てたりすることができますか。	第３学年	41.7	43.7	12.0	2.7
	第４学年	37.7	45.0	14.0	3.2
	第５学年	35.4	47.0	14.6	3.0
	第６学年	34.5	49.3	13.6	2.6

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	あまりやったことがないのでわからない
自分の疑問や予想について、調べたり考えたりすることができますか。	第３学年	39.5	38.9	11.7	2.6	7.3
	第４学年	41.6	37.3	13.4	2.7	5.0
	第５学年	38.9	39.6	13.2	2.5	5.9
	第６学年	40.5	41.5	10.8	2.4	4.8

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	あまりやったことがないのでわからない
自分で資料を集めて調べることができますか。	第３学年	30.3	36.5	16.3	4.9	12.0
	第４学年	36.1	41.1	17.8	5.0	
	第５学年	36.2	43.4	16.5	3.9	
	第６学年	39.6	43.4	14.0	3.0	

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	あまりやったことがないのでわからない
自分の考えを資料などを使って説明することができますか。	第３学年	25.5	35.0	20.0	7.4	12.0
	第４学年	27.4	37.1	19.9	6.7	8.8
	第５学年	26.9	40.0	19.8	6.0	7.3
	第６学年	28.6	42.0	18.7	5.2	5.5

児童質問紙調査	回答の割合（%）						
	学　年	考えのまとめ方がわからない	資料を使うのがむずかしい	話すのがにがてだと感じる	説明のしかたがわからない	時間がたりない	はずかしいと感じる	上の1から6のようなことはない
「自分の考えを資料などを使って説明すること」について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。	第4学年	24.2	22.2	27.4	22.8	10.2	26.8	30.6
	第5学年	26.5	21.5	32.5	26.3	10.9	27.3	29.6
	第6学年	25.3	19.3	34.3	26.7	9.6	28.0	29.0

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	あまりやったことがないのでわからない
調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができますか。	第３学年	43.5	35.5	13.3	4.5	3.3
	第４学年	37.6	39.4	15.6	4.8	2.6
	第５学年	34.8	41.9	16.4	4.5	2.4
	第６学年	36.5	42.0	15.3	4.3	1.8

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	考えのまとめ方がわからない	時間がたりない	文章を書くのがにがてだと感じる	めんどうだと感じる	上の1から4のようなことはない
「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くこと」について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。	第４学年	21.9	17.1	29.8	13.1	41.0
	第５学年	23.5	17.4	31.0	18.4	38.0
	第６学年	22.0	16.2	30.9	21.1	38.4

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	あまりやったことがないのでわからない
友だちの意見に対して、自分の考えをもつことができますか。	第３学年	46.9	36.3	11.3	3.3	2.2
	第４学年	42.1	39.5	12.6	3.8	2.0
	第５学年	40.9	41.3	12.3	3.3	2.2
	第６学年	45.5	40.8	9.8	2.5	1.4
学習問題についてよりよい調べ方を考えたり、くり返し調べたりすることができますか。	第３学年	29.6	43.9	16.8	3.6	6.1
	第４学年	30.2	42.2	19.1	4.1	4.5
	第５学年	25.7	44.6	19.8	4.2	5.7
	第６学年	25.5	46.8	18.4	4.1	5.3

児童質問紙調査	回答の割合（%）				
	学　年	やり方がわからない	時間がたりない	めんどうだと感じる	上の1から3のようなことはない
「学習問題についてよりよい調べ方を考えたり、くり返し調べたりすること」について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。	第４学年	22.0	19.3	16.9	50.5
	第５学年	21.4	19.5	23.8	46.1
	第６学年	17.4	17.2	28.7	46.5

○　「資料などから疑問を見つけたり問いをつくったりすること」「学習問題に対してみんなで予想を立てたり、学習の計画を立てたりすること」について、「できる」「どちらかといえばできる」と肯定的に回答した割合は、各学年ともに、それぞれ 70%、80%を超えている。
○　「資料などから疑問を見つけたり問いをつくったりすること」について、肯定的に回答した割合は、第６学年が一番高く、「学習問題に対してみんなで予想を立てたり、学習の計画を立てたりすること」について肯定的に回答した割合は、第３学年が一番高い。
○　「自分の疑問や予想について、調べたり考えたりすること」について肯定的に回答した割合は 80%前後であり、各学年共に高い。
○　「自分で資料を集めて調べること」について「できる」と回答した割合は、前回調査における割合（第４学年：28.1%、第５学年：30.4%、第６学年：38.4%）より各学年共に高い。特に第４学年においては８%程度高くなっている。
○　「自分の考えを資料などを使って説明すること」について「できる」と回答した割合は、前回調査における割合（第４学年：18.1%、第５学年：17.7%、第６学年：19.2%）より各学年共に９%程度高くなっている。
○　「自分の考えを資料などを使って説明すること」について、「話すのがにがてと感じる」と回答した割合が、各学年共に一番高い。
○　「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くこと」について「できる」と回答した割合は、前回調査における割合（第４学年：30.3%、第５学年：29.0%、第６学年：31.7%）より各学年共に５～７%程度高くなっている。
○　「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くこと」について、「文章を書くのがにがてだと感じる」という回答の割合が一番高い。
○　「友だちの意見に対して、自分の考えをもつこと」について「できる」と回答した割合は、前回調査における割合（第４学年：33.1%、第５学年：33.4%、第６学年：33.9%）より各学年共に７～11%程度高くなっている。
○　「学習問題についてよりよい調べ方を考えたり、くり返し調べたりすること」について、第４学年においては「やり方がわからない」と回答した割合が一番高く、第５学年、第６学年においては「めんどうと感じる」と回答した割合が一番高い。

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	できる	どちらかといえばできる	どちらかといえばできない	できない	あまりやったことがないのでわからない
パソコンやタブレットなどコンピュータを使うことはできますか。	第３学年	65.5	24.0	5.2	2.2	3.1
	第４学年	72.7	19.9	4.6	1.7	1.1
	第５学年	76.0	19.0	3.5	0.9	0.6
	第６学年	76.4	18.9	3.3	0.7	0.7

児童質問紙調査	回答の割合（%）							
	学　年	調べる場面	話し合う場面	自分の考えを書く場面	調べたことをまとめる場面	授業の感想を書く場面	自分の学習をふり返る場面	その他
「パソコンやタブレットなどコンピュータを使うこと」について、教えてください。①どんな場面で使いましたか。あてはまるものをすべて選んでください。	第３学年	83.7	24.7	37.0	33.8	23.6	22.2	7.8
	第４学年	89.8	28.9	47.5	49.6	34.1	26.3	6.4
	第５学年	93.6	33.6	57.3	59.8	39.4	29.6	6.0
	第６学年	94.7	38.3	61.2	65.7	40.9	30.9	5.4

児童質問紙調査	回答の割合（%）								
	学　年	調べる場面	話し合う場面	自分の考えを書く場面	調べたことをまとめる場面	授業の感想を書く場面	自分の学習をふり返る場面	その他	役だったことはない
「パソコンやタブレットなどコンピュータを使うこと」について、教えてください。②どんな場面で役立ちましたか。あてはまるものをすべて選んでください。	第４学年	84.6	29.9	40.9	45.8	28.3	23.9	2.6	4.1
	第５学年	89.6	34.8	48.5	54.8	31.2	26.3	2.2	2.4
	第６学年	90.8	36.4	48.5	58.8	30.3	25.3	2.6	1.9

○　「パソコンやタブレットなどコンピュータを使うこと。」について「できる」「どちらかといえばできる」と肯定的に回答した割合は、各学年共 90%前後である。

○　「パソコンやタブレットなどコンピュータを使う場面」について、各学年共に「使った場面」「役立った場面」ともに「調べる場面」が一番高い。第６学年においては、「話し合う場面」や「調べたことをまとめる場面」で使っている割合が、他学年と比べると高い。

【３年生】

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きではない	好きではない	あまりやったことがないのでわからない
地図帳で調べることが好きですか。	第３学年	37.0	27.3	14.4	8.3	13.0

○　「地図帳で調べることが好きですか。」という質問に対する肯定的な回答の割合は、否定的な回答の割合よりも高いが、「あまりやったことがないのでわからない」と回答した割合が１割を超えている。

児童質問紙調査	回答の割合（%）					
	学　年	好きだ	どちらかといえば好きだ	どちらかといえば好きではない	好きではない	あまりやったことがないのでわからない
問題やテーマを決めて話し合いをすることが好きですか。	第３学年	39.9	35.4	15.1	6.5	3.1
	第４学年	37.3	32.5	19.2	8.8	2.1
	第５学年	30.5	33.8	23.6	9.3	2.8
	第６学年	29.3	33.7	24.4	9.7	2.9

児童質問紙調査	回答の割合（%）								
	学　年	むずかしくてわからないと感じる	話し方がわからないと感じる	言い合いみたいになる	一部の人だけかつやくするように感じる	考える時間がたりないと感じる	自分の意見がまとまらない	はずかしいと感じる	その他
「問題やテーマを決めて話し合いをすること」について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。	第3学年	21.1	16.1	13.7	16.3	17.8	21.2	16.4	32.8
	第4学年	21.1	14.8	13.4	18.0	15.8	22.7	17.3	39.8
	第5学年	22.0	18.8	15.7	25.0	18.1	29.4	19.1	33.4
	第6学年	18.4	17.4	14.6	28.4	16.4	28.4	17.7	34.7

○　「問題やテーマを決めて話し合いをすることが好きですか。」について「好きだ」と回答した割合は、前回調査における割合（第４学年：22.8%、第５学年：18.7%、第６学年：16.8%）より各学年共に高く、11～14%程度高くなっている。
○　「問題やテーマを決めて話し合いをすること」について、第３学年、第４学年、第５学年においては「自分の意見がまとまらない」と回答した割合が一番高いが、第６学年においては「一部の人だけかつやくするように感じる」「自分の意見がまとまらない」と回答した割合が一番高い。

児童質問紙調査	回答の割合（%）				
	学　年	よくある	ときどきある	あまりない	ない
社会科の学習をもとにして、これからのよりよい社会について考えることがありますか。	第３学年	25.2	50.3	18.2	6.3
	第４学年	23.3	49.6	20.4	6.8
	第５学年	20.6	51.4	20.9	7.1
	第６学年	20.4	48.0	23.6	7.9

○　「社会科の学習をもとにして、これからのよりよい社会について考えることがありますか。」という質問に対して「よくある」と回答した割合は、前回調査（第４学年：21.1%、第５学年：21.8%、第６学年：24.8%）と比較して、第６学年で４%程度低下している。

イ　教師オンライン質問調査

教師オンライン質問調査	回答の割合（%）				
	学　年	そうしている	どちらかといえばそうしている	どちらかといえばそうしていない	そうしていない
児童の疑問を引き出すような資料提示の方法を工夫していますか。	第３学年	34.4	57.2	8.5	0.0
	第４学年	30.2	61.4	8.4	0.0
	第５学年	40.9	55.9	3.2	0.0
	第６学年	41.3	54.5	3.9	0.3
学級全体で追究、解決する問題（学習問題）を決めて授業を行っていますか。	第３学年	33.3	60.8	5.9	0.0
	第４学年	32.7	57.9	9.4	0.0
	第５学年	40.9	54.4	4.8	0.0
	第６学年	40.3	51.8	7.2	0.9
児童が予想に基づいて調べる計画を立てるよう指導していますか。	第３学年	25.3	58.4	15.0	1.3
	第４学年	26.0	57.9	15.8	0.4
	第５学年	30.8	53.4	15.1	0.7
	第６学年	29.9	53.6	15.6	0.9
児童一人一人の追究活動を個別に指導していますか。	第３学年	18.3	57.0	22.1	2.6
	第４学年	15.3	60.8	22.5	1.3
	第５学年	21.3	54.5	21.5	2.7
	第６学年	19.6	56.2	22.9	1.4
それぞれ調べたことを学級全体で共有するように指導していますか。	第３学年	44.2	50.9	4.4	0.5
	第４学年	52.8	42.4	4.8	0.0
	第５学年	44.0	54.3	1.7	0.0
	第６学年	48.6	47.1	4.3	0.0
調べたことや考えたことについて、根拠や理由を説明するよう指導していますか。	第３学年	35.6	59.9	4.5	0.0
	第４学年	38.0	53.3	8.6	0.0
	第５学年	44.0	49.3	6.6	0.0
	第６学年	39.0	56.6	4.4	0.0
問題やテーマを決めて、討論する授業を行っていますか。	第３学年	11.4	44.3	36.5	7.7
	第４学年	8.8	46.0	37.0	8.3
	第５学年	17.2	45.5	32.2	5.0
	第６学年	15.7	49.3	28.7	6.2
社会科の授業を展開する中で、他の立場から考えたり他の情報と比べたりして、考えるような授業を行っていますか。	第３学年	18.1	59.6	20.1	2.2
	第４学年	18.1	63.2	18.3	0.5
	第５学年	30.7	57.8	10.7	0.8
	第６学年	27.5	61.5	9.9	1.0
学習したことをもとに、社会への関わり方を選択・判断したりするような授業を行っていますか。	第３学年	21.0	61.2	17.3	0.5
	第４学年	20.7	66.5	11.6	1.1
	第５学年	24.7	62.7	12.6	0.0
	第６学年	25.6	60.2	13.5	0.7
	第６学年	40.4	54.7	4.5	0.5
「社会的事象の見方・考え方」を意識して指導していますか。	第３学年	22.1	62.5	14.9	0.5
	第４学年	18.8	66.7	13.8	0.8
	第５学年	24.9	65.0	10.1	0.0
	第６学年	25.7	65.8	7.5	0.9

○　「児童の疑問を引き出すような資料提示の方法を工夫すること」「学級全体で追究、解決する問題（学習問題）を決めて授業を行うこと」「それぞれ調べたことを学級全体で共有すること」「調べたことや考えたことについて、根拠や理由を説明すること」などの指導については、「そうしている」「どちらかといえばそうしている」と肯定的に回答した割合はいずれも 90%以上と高く、問題解決的な学習について意識が浸透してきていると考えられる。

○　「児童が予想に基づいて調べる計画を立てるよう指導していますか。」「児童一人一人の追

究活動を個別に指導していますか。」「問題やテーマを決めて、討論する授業を行っていますか。」「社会科の授業を展開する中で、他の立場から考えたり他の情報と比べたりして考えるような授業を行っていますか。」などの指導については、「そうしている」と肯定的に回答した割合が、他の項目に比べて低い。

○　今回の調査から新たに設問として加えた「学習したことをもとに、社会への関わり方を選択判断したりするような授業を行っていますか。」「「社会的事象の見方・考え方」を意識して指導していますか。」などの指導については、「そうしている」と肯定的に回答した割合は、他の項目に比べて低い。

教師オンライン質問調査	回答の割合（%）				
	学　年	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
タブレットなどコンピュータを活用した授業を行っていますか。	第３学年	63.3	27.7	8.4	0.5
	第４学年	74.7	22.0	2.2	1.1
	第５学年	73.1	25.6	1.4	0.0
	第６学年	74.6	21.1	4.3	0.0

①どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
共通の資料を大きく提示する場面	87.4	86.5	86.1	85.2
資料を児童に配布（送信）する場面	63.8	69.7	68.7	66.9
インターネットで自由に調べる場面	86.9	95.5	95.7	95.7
児童が話し合う場面	39.4	44.0	49.7	52.6
児童の考えを一覧する場面	56.3	60.3	57.7	60.7
学習したことを図や作品にまとめる場面	39.9	57.5	58.5	53.9
オンラインで遠隔地と交流する場面	10.8	15.3	17.9	7.5
学習履歴を保存する場面	20.6	22.9	20.7	19.1

①なぜ、行わないのですか。（もっともふさわしいものを１つ）	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
準備や操作に時間がかかるから	53.1	24.8	100.0	20.3
準備や操作が難しいから	22.1	37.0	0.0	8.3
学校の環境がととのわないから	8.1	26.2	0.0	8.4
授業の進み方が遅くなるから	16.7	11.9	0.0	63.1

○　「タブレットなどコンピュータを活用した授業を行っていますか。」という質問に対する「行っている」「どちらかといえば行っている」という肯定的な回答の割合が、全学年で９割を超え、非常に高くなっている。タブレットなどコンピュータを活用した授業が日常的に行われていると考えられる。

○　「どんな場面で使いましたか。」という質問に対して、「共通の資料を大きく提示する場面」、「インターネットで自由に調べる場面」と回答している割合が全学年で高い。

○　「なぜ、行わないのですか。」という問いに対して、第３学年、第５学年においては、「準備や操作に時間がかかるから」と回答する割合が高く、第６学年においては、「授業の進み方が遅くなるから」と回答した割合が高い。

教師オンライン質問調査	回答の割合（%）				
	学　年	児童全員に1台ずつそろう	2人に1台そろう	3、4人のグループに1台そろう	学級に1台程度そろう
学級で社会科の授業を行う際に地球儀はどれくらいそろいますか。	第３学年	5.7	3.7	48.9	41.6
	第４学年	7.3	3.0	47.6	42.0
	第５学年	5.6	9.3	62.5	22.7
	第６学年	4.8	5.7	56.3	33.2

○　「学級で社会科の授業を行う際に地球儀はどれくらいそろいますか」という質問に対して、「３、４人のグループに１台そろう」、「学級に１台程度そろう」という回答の割合が高い。

ウ　児童質問紙調査と教師オンライン質問調査との関係

○　問題解決的な学習については、児童質問紙調査では「疑問を見つけたり問いをつくる」「学習問題に対して予想や計画を立てる」「調べたり考えたりする」「考えを文章で書く」など問題解決的な学習過程の各場面に関する質問に対する「できる」「どちらかといえばできる」という肯定的な回答の割合は、前回調査を上回るものが多く、教師オンライン質問調査では「児童の疑問を引き出すこと」「学習問題を追究解決すること」「調べたことを学級全体で共有すること」「根拠や理由を説明すること」などの指導について「そうしている」「どちらかといえばそうしている」と肯定的に回答した割合はいずれも 90%以上と高い。このことから、問題解決的な学習については、教師、児童共に意識が浸透してきていると考えられるが、今回新たな設問として加えた教師オンライン質問調査の「学習したことをもとに、社会への関わり方を選択・判断したりする」「「社会的事象の見方・考え方」を意識して指導する」などの指導については、「そうしている」という肯定的な回答の割合は、他の項目に比べて低く、課題があると考えられる。

○　ICT 端末の活用に関しては、児童質問紙調査の「パソコンやタブレットなどのコンピュータを使うこと」について肯定的に回答した割合は、各学年ともに 90%前後であり、教師オンライン質問調査の「タブレットなどコンピュータを活用した授業を行うこと」について「行っている」「どちらかと言えば行っている」と肯定的に回答した割合は、各学年で 90%を超えており、授業の場面で積極的に活用していることがうかがえる。

エ　児童質問紙調査とペーパーテスト調査との関係

○　問題解決の見通しをもつ問題の正答者は、「学習問題に対してみんなで予想を立てたり、学習の計画を立てたりすることができますか」や「資料などから疑問を見つけたり問いをつくったりすることができますか」などに肯定的な回答をする傾向がある。

・　問題解決の見通しをもとうとする問題［３A4(１)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「学習問題に対してみんなで予想を立てたり、学習の計画を立てたりすることができますか」における肯定的な回答(「できる」「どちらかといえばできる」)の割合は 87.9%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は 81.7%にとどまった。

・　学習問題を考える問題［６B5(２)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「資料などから疑問を見つけたり問いをつくったりすることができますか」における肯定的な回答（「できる」「どちらかといえばできる」の割合は 81.0%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は 73.0%にとどまった。

・　振り返ったり見直したりして、さらに調べることを考える問題［３B3(２)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「学習を振り返ったり、さらに調べてみたいことを考えたりすることができますか」における肯定的な回答(「できる」「どちらかといえばできる」)の割合は 80.0%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は 73.0%にとどまった。

・　学習問題について予想を立て解決の見通しをもとうとする問題［５B7(２)］に正答した児童のうち、児童質問調査の設問「自分で資料を集めて調べることができますか」における肯定的な回答（「できる」「どちらかといえばできる」）の割合は 82.9%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は 70.0%にとどまった。予想を立てることができる児童は、自分で資料を集めて調べることができる傾向があると考えられる。

○　社会的事象の特色や意味を考え説明する問題の正答者は、「自分の考えを資料などを使って説明することができる」などに肯定的な回答をする傾向がある。

・　社会的事象の特色や意味を考え説明する問題［３B3(３)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「自分の考えを資料などを使って説明することができますか」における肯

定的な回答(「できる」「どちらかといえばできる」)の割合は69.3%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は59.1%にとどまった。

・　社会的事象の特色や意味を考え説明する問題［６Ａ2(２)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができますか」における肯定的な回答（「できる」「どちらかといえばできる」）の割合は83.0%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は76.0%にとどまった。

・　工場の立地と交通網の広がりとを関連付けて、工業生産と運輸の関連について考えている問題［５Ａ５(３)②］に誤答した児童は、児童質問調査の設問「（自分の考えを資料などを使って説明することができますか）について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。」について、「説明の仕方がわからない」（29.8%）、「考えのまとめ方が分からない」（28.7%）を多く選択していた。社会的事象の特色や意味を考え説明することが苦手な児童は、説明の仕方や考えのまとめ方がわからない傾向があると考えられる。

○　読み取ったことを基に図や文などにまとめる問題の正答者は、「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができますか」などに肯定的な回答をする傾向がある。

・　読み取ったことを基に図や文などにまとめる問題［３A2(２)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができますか」における肯定的な回答(「できる」「どちらかといえばできる」)の割合は80.2%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は74.3%にとどまった。

・　読み取ったことを基に図や文などにまとめる問題［４Ａ４(２)］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができますか。」における肯定的な回答（「できる」「どちらかといえばできる」）の割合は77.3%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は70.3%にとどまった。

・　文や図、表などにまとめる問題［６A4(３)①②］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「自分の考えを資料など使って説明することができますか」における肯定的な回答（「できる」「どちらかといえばできる」）の割合は83.0%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は73.0%にとどまった。

○　社会に見られる課題を捉え、社会への関わり方を考えようとする問題の正答者は、「社会科の学習をもとにして、これからのよりよい社会について考えることがありますか」などに肯定的な回答をする傾向がある。

・　自分にできる災害の備えについて考えようとする問題［４A4(4)］に正答した児童のうち、児童質問調査の設問「社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つか。」における肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の割合は86.3%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は79.8%にとどまった。

・　よりよい社会を考えようとする問題［６Ｂ2(３)①］に正答した児童のうち、児童質問紙調査の設問「社会科の学習をもとにして、これからのよりよい社会について考えることがありますか」における肯定的な回答（「よくある」「ときどきある」）の割合は72.0%であるのに対し、誤答した児童の肯定的な回答の割合は66.0%にとどまった。

２．今回の調査結果を踏まえた指導上の改善点

（１）学習問題を考え、問題解決の見通しをもつようにする指導の充実

○　資料から疑問に思ったことなどを基に学習問題を考えるように指導することが重要である。例えば資料から事実を読み取る、読み取ったことを基に考えるなどの活動を丁寧に行ったり、児童から出された疑問などを話し合いながら整理し、学習の見通しをもてるようにしたりすることが考えられる。また、児童が自分の言葉で学習問題を作ってみることも大切である。

○　学習問題に対する予想に基づいて、調べる（確かめる）事項を決めるなどして学習計画を立て、学習問題を追究・解決するための見通しをもつように指導することが重要である。例えば、学習問題を設定したあとに既習事項や生活経験に基づいて予想することができるようにしたり、予想を確かめるために何を調べればよいかを考えたりして単元の学習計画をつくり、児童が問題解決の見通しをもてるようにしていくことが考えられる。

○　学習問題や学習計画、学習成果などを振り返ったり見直したりして、さらに調べることとその理由を考えるように指導することが重要である。例えば、分かったことを振り返るだけでなく、単元の問題解決の過程を振り返り、学習問題の解決に向けて、分かったことやまだ分からないことを明確にしていくことやその方法を考えられるように指導を行っていくことが考えられる。

（２）社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会的事象の特色や意味を考え、説明したり、自分の考えを主張したりできるようにする指導の充実

○　社会的事象の見方・考え方を働かせて社会的事象を捉え、関連付けたり総合したりしてそれらの特色や意味を考えるように指導することが重要である。例えば、社会的事象の見方・考え方を働かせることができる資料や発問、学習活動を工夫したり、「つまり」「たとえば」という言葉を使って考えるようにしたり、具体的な事実に基づいて社会的事象の特色や意味などについて考え、理解するように指導することが考えられる。

○　社会的事象の特色や意味について考えたことを、根拠や理由を明確にして論理的に説明できるように指導することが重要である。例えば、調べて分かったことを基に考えたことをまとめて終わりにするのではなく、まとめたものを基に社会的事象の特色や意味を自分の言葉で説明するなどの活動を行うことが考えられる。また、説明する活動を行う場合は、予想と事実を区別したり、根拠や理由を問い返したりして進めるようにすることが大切である。

○　話合い活動を行う時は、他者の主張につなげて議論したり、互いの立場を明確にして討論したりして、社会的事象についての自分の考えを主張できるように指導することが重要である。例えば、自分の考えをノートにまとめて終わりにするのではなく、対話を通して問題解決をする学習活動を充実させる指導を行うことが考えられる。

（３）学習で身に付けた知識や技能を使って一人一人が図や文などにまとめることができるようにする指導の充実

○　必要な情報を集めて整理し、図表などにまとめることができるように指導することが重要である。例えば、白地図や関係図、年表などに整理してまとめる活動を丁寧に行うことが考えられる。

○　学習して身に付けた知識を使って、学習問題について分かったことや考えたことを文章や図表などにまとめ、社会的事象の特色や意味を理解できるように指導することが重要である。例えば、学んだ重要な用語を基にまとめるように指導することが大切である。さらに、授業のまとめを教師が行うのではなく、児童が自分の言葉でまとめることを丁寧に指導することが大切である。

（４）社会に見られる課題を踏まえて、よりよい社会を考えるようにする指導の充実

○　社会に見られる課題を把握して、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりする際には、学習したことを基に表現できるように指導することが重要である。例えば、単元を通して学習したことを基に課題や新たな問いを見いだすことや社会に見られる課題をしっかりと一人一人の児童が把握できるようにすること、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする際には単元で学んだことを基に根拠や理由を明確にして表現できるように指導することが大切である。

○　よりよい社会を考えようとする際には、立場を明確にして話し合うなど、多角的に考えるよう指

導することが重要である。例えば、「第５学年我が国の産業の発展」を考える学習の際には、生産者と消費者の立場を明確にして、具体的な資料やまとめた作品などを提示しながら自分の考えを説明しあうなどの学習活動を工夫することが考えられる。

（５）社会的事象の見方・考え方を働かせ、内容に応じて基礎的な知識や社会的事象の特色や意味の理解の定着を図ることができるようにする指導の充実

○　内容の枠組みに応じて、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目して、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民生活と関連付けたりして考えるなど、社会的事象の見方・考え方を働かせて、以下のように指導することが重要である。

・　枠組み①については、「我が国の国土の様子」の学習において、位置や空間的な広がりに着目して基礎的な知識及び技能を身に付けるように指導することが重要である。例えば、地図や地球儀などを活用して、世界の主な国の名称と位置や日本の国土の位置、領土の範囲を確かめたり、説明したりする活動を展開することが考えられる。

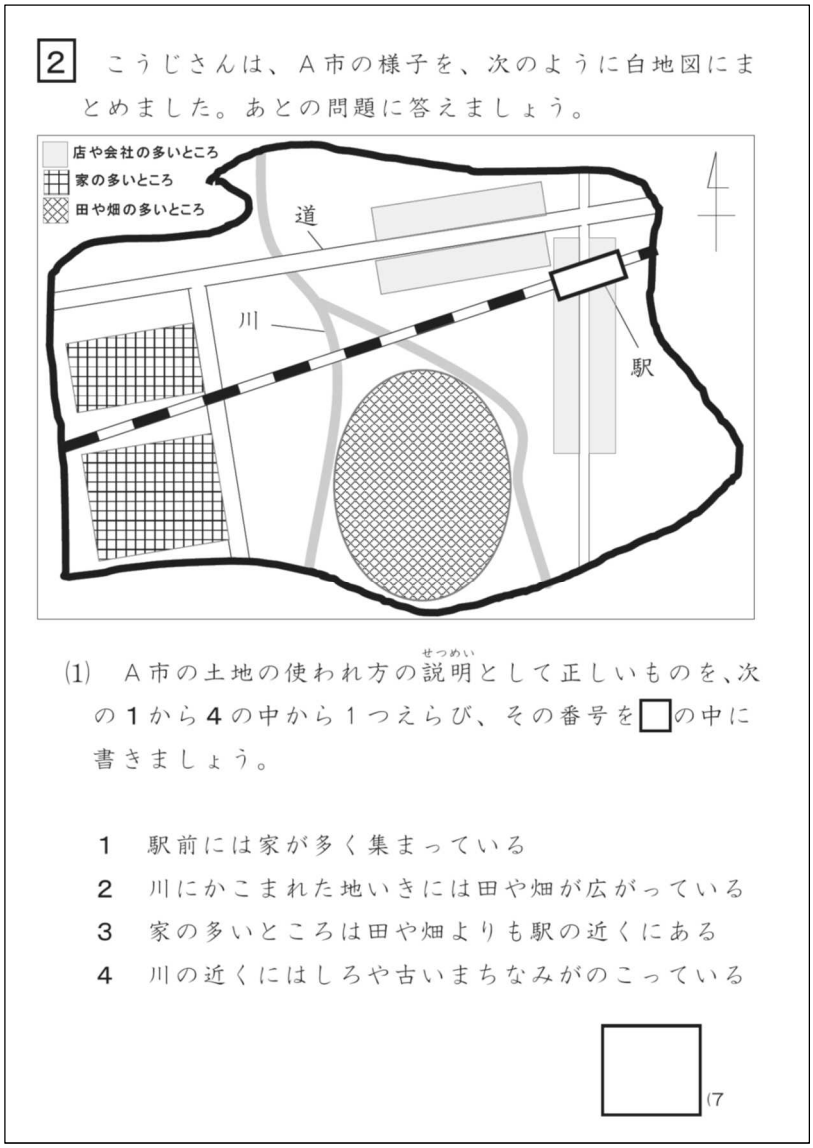
・　枠組み②については、「我が国の歴史」の学習において、時期や時間の経過に着目して歴史上の人物とその業績を結び付けて、基礎的な知識を身に付けるように指導することが重要である。例えば、年表に整理しながら、明治期以降の人物の業績を取り上げたり、歴史上の主な事象に対する用語・語句の意味を確認したりして理解するように指導することが考えられる。

・　枠組み③については、「我が国の政治の働き」の学習において、具体的な事実を基に社会的事象の特色や意味を国民生活と関連付けて理解できるように指導することが重要である。例えば、用語を理解に留まらず、具体的な事実と関連付けて説明できるようにすることが考えられる。

３．問題例と解答類型

３Ａ２（１）

第３学年（１）ア（ア）イ（ア）「身近な地域や市区町村の様子」
地図を読み取り、土地利用の様子を理解している

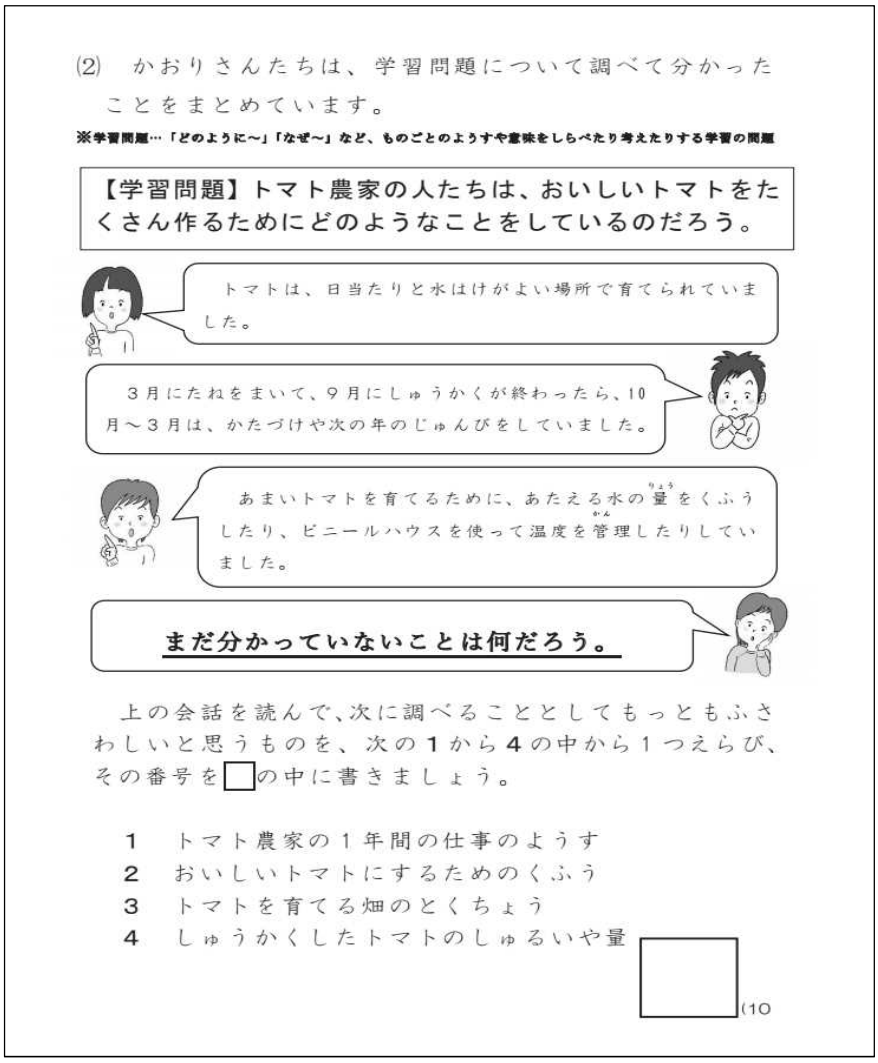


冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	2	(1)		90	1 と解答しているもの		6.9	0.5
				10	2 と解答しているもの	◎	77.2	1.2
				91	3 と解答しているもの		11.4	0.7
				92	4 と解答しているもの		4.1	0.5
				98	上記以外の解答		0.2	0.1
				99	無解答		0.3	0.1

（◎：正答）

３Ａ３（２）

第３学年（２）ア（ア）イ（ア）「地域に見られる生産の仕事」
ふり返ったり見直したりして、さらに調べるべきことを考えようとしている

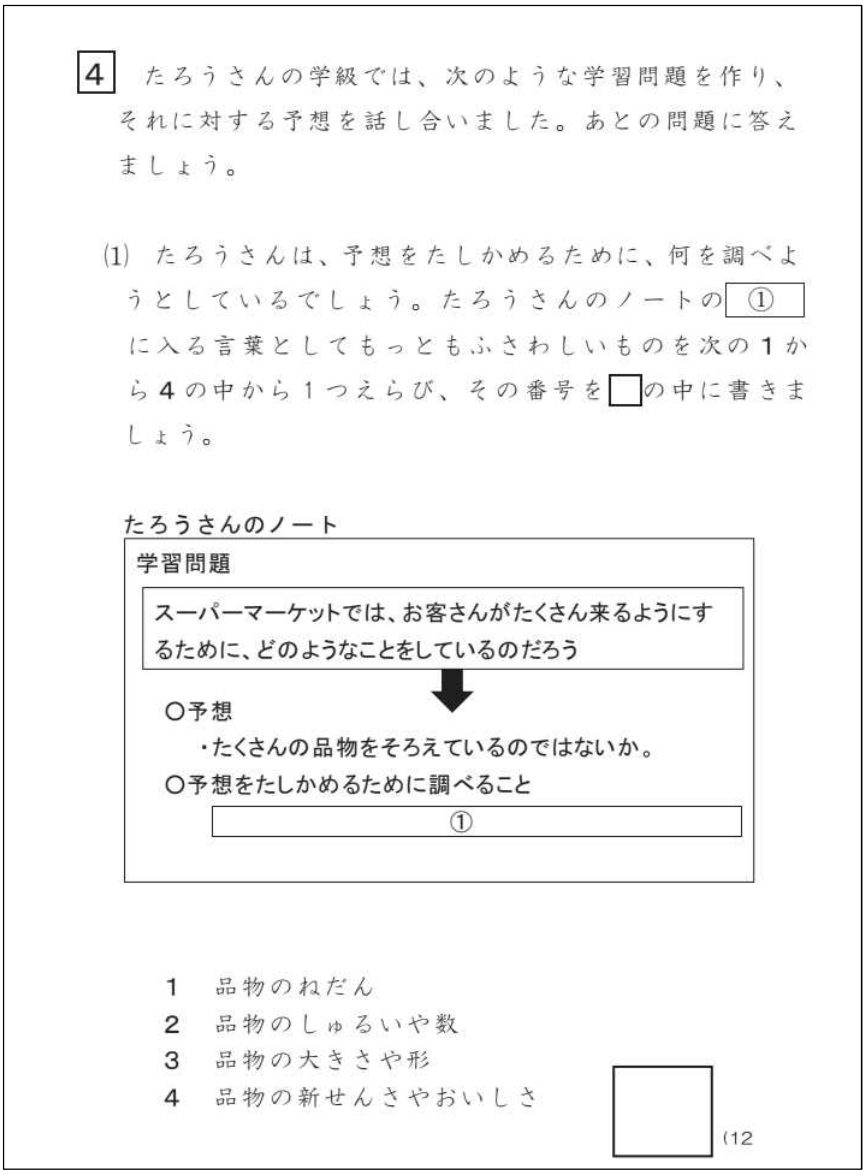


冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	3	(2)		90	1 と解答しているもの		12.8	0.9
				91	2 と解答しているもの		26.2	0.9
				92	3 と解答しているもの		11.1	0.6
				10	4 と解答しているもの	◎	49.6	1.2
				98	上記以外の解答		0.0	0.0
				99	無解答		0.3	0.1

（◎：正答）

３Ａ４（１）

第３学年（２）ア（イ）イ（イ）「地域に見られる販売の仕事」
学習問題について、解決の見通しをもとうとしている



4 たろうさんの学級では、次のような学習問題を作り、それに対する予想を話し合いました。あとの問題に答えましょう。

(1) たろうさんは、予想をたしかめるために、何を調べようとしているでしょう。たろうさんのノートの ① に入る言葉としてもっともふさわしいものを次の１から４の中から１つえらび、その番号を □ の中に書きましょう。

たろうさんのノート

学習問題

スーパーマーケットでは、お客さんがたくさん来るようにするために、どのようなことをしているのだろう

○予想
・たくさんの品物をそろえているのではないか。

○予想をたしかめるために調べること
①

1 品物のねだん
2 品物のしゅるいや数
3 品物の大きさや形
4 品物の新せんさやおいしさ

□

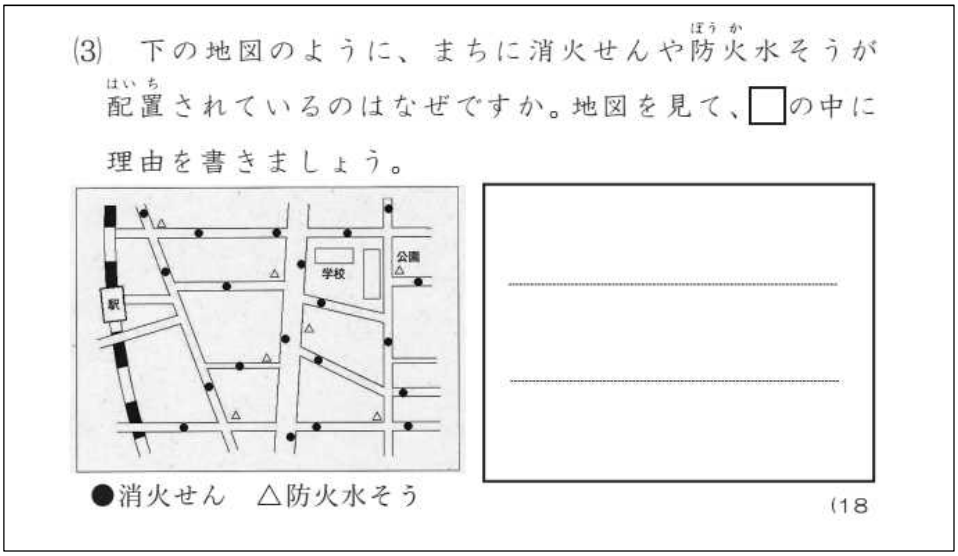
(12

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	4	(1)		90	１ と解答しているもの		8.2	0.4
				10	２ と解答しているもの	◎	44.2	1.0
				91	３ と解答しているもの		4.3	0.4
				92	４ と解答しているもの		42.9	1.0
				98	上記以外の解答		－	－
				99	無解答		0.4	0.1

（◎：正答）

３Ａ５（３）

第３学年（３）ア（ア）イ（ア）「地域の安全を守る働き」
地図と消火設備を関連付けて、消防設備の配置の意図を考えている

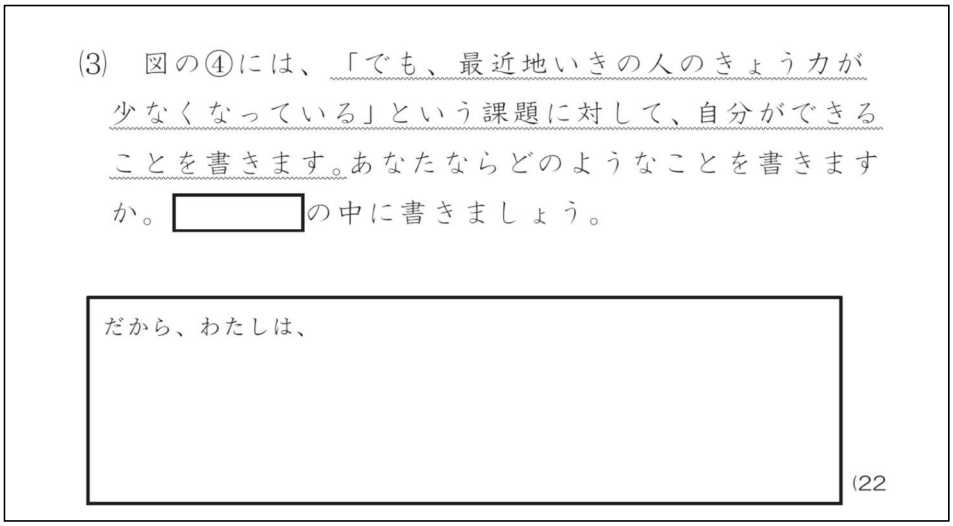


冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	5	(3)		10	「どこでも」または、「すぐに」など配置の均等なちらばりと、「消火できる」など消防士の働きの両方を書いているもの	◎	26.1	1.0
				20	「消防士が消火できる」など、消防士の働きのみを書いているもの	○	3.3	0.4
				21	「いろいろな場所で火事が起こっても大丈夫なように」など、「どこでも」または、「すぐに」など配置の均等なちらばりのみを書いているもの	○	20.1	0.9
				22	「安全のため」「安心のため」など、抽象的に答えているもの	○	2.6	0.3
				90	学校、公園、駅などの施設等と関連付けて、配置を説明しているもの		2.6	0.4
				91	消火栓、防火水槽の役割を誤って理解して書いているもの（市民が火を消すなど）		5.0	0.5
				98	上記以外の解答		35.0	1.1
				99	無解答		5.2	0.5

（◎：正答、○：準正答）

３Ａ6（３）

第３学年（３）ア（ア）イ（ア）「地域の安全を守る働き」
地域の人の協力が少なくなっているという課題について、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしている


⑶　図の④には、「でも、最近地いきの人のきょう力が少なくなっている」という課題に対して、自分ができることを書きます。あなたならどのようなことを書きますか。［　　］の中に書きましょう。

だから、わたしは、

(22

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
A	6	(3)		10	今、自分ができる、地域の協力を増やす取り組みを書いている。 （例） ・自分も、避難訓練に参加したり参加することを呼びかけたりする。 ・消防団に入るよう、家族にお願いする。 ・地域の協力を増やすポスターを書く。	◎	5.7	0.6
				11	将来、自分ができる、地域の協力を増やす取り組みを書いている。 （例） ・消防団に入る。 ・町会パトロールに参加する。	◎	1.4	0.2
				20	地域の協力が減っているという課題を広く捉え、自分が火災を起こさないことについて書いている。 （例） ・火遊びをしない。 ・火の用心のポスターを書く。	○	33.0	1.3
				21	地域の協力が減っているという課題を広く捉え、あいさつをする、顔見知りになるなど地域の人との関わりが書かれているもの。	○	3.3	0.4
				90	課題に対する解決策（具体策がない）なっていないもの		27.9	0.9
				91	自分ができることではないことを書いているもの		6.6	0.5
				98	上記以外の解答		14.0	0.8
				99	無解答		8.1	0.7

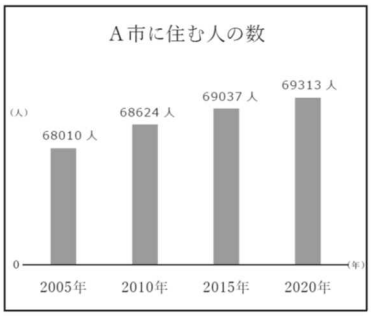
（◎：正答、○：準正答）

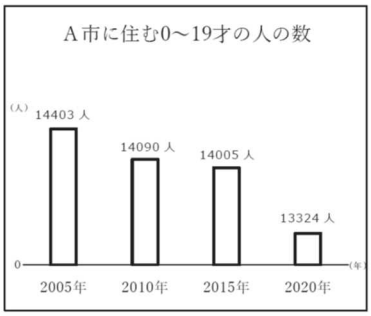
３Ａ7（１）（２）①②

第３学年（４）ア（ア）イ（ア）「市の様子の移り変わり」
グラフを読み取り、市の人口推移の様子を理解している
資料を関連付けて、お年寄りが暮らしやすい方法を考えている
これからの市の発展について考えようとしている

7 まみ子さんは、自分たちの住むＡ市のうつりかわりの様子を調べています。あとの問題に答えましょう。

(1) 次の２つのグラフから、Ａ市に住む人の数はどのようにかわってきていると言えますか。正しいものを、次の１から４の中から１つえらび、その番号を□の中に書きましょう。





１　Ａ市に住む人の数はふえていて、０～19才の人の数はへっている

２　Ａ市に住む人の数はふえていて、０～19才の人の数もふえている

３　Ａ市に住む人の数はへっていて、０～19才の人の数もへっている

４　Ａ市に住む人の数はへっていて、０～19才の人の数はふえている

□

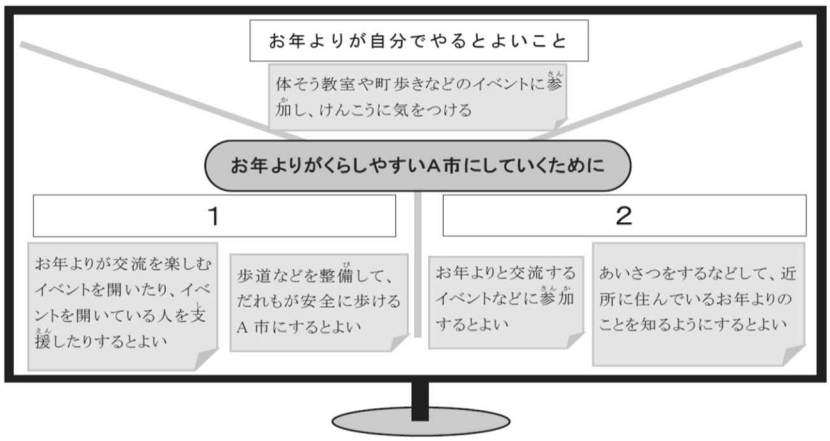
(23

(2)　まみ子さんの学級では、次のような話し合いをしました。

A市では、お年よりの数はふえてきているそうです。

それならば、お年よりにもくらしやすいA市にしていかなければいけないよね。どのようなことがひつようかな。

そして、話し合いで出た意見を、パソコンを使って次のようにまとめました。



①　次の㋐と㋑のタイトルは、パソコン画面の中の１と２のどちらに入りますか。正しいものを**それぞれ１つずつ**えらび、その番号を□の中に書きましょう。

㋐　A市にやってほしいこと　□

㋑　市民のみんなでやるとよいこと　□

(24

②　あなたなら、お年よりがくらしやすいA市にしていくために、どのような意見を出しますか。あなたの考えを□に書きましょう。

□

(25

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	7	(1)		10	1 と解答しているもの	◎	80.4	1.0
				90	2 と解答しているもの		9.9	0.7
				91	3 と解答しているもの		5.7	0.4
				92	4 と解答しているもの		3.7	0.7
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		0.2	0.1
		(2)①	ア イ	10	アを1、イを2と解答しているもの	◎	64.6	1.0
				90	アを2、イを1と解答しているもの		33.4	1.0
				98	上記以外の解答		1.5	0.2
				99	無解答		0.5	0.1
		②		10	「A市にやってほしいこと」について自分の意見を書いているもの	◎	27.4	1.4
				11	「市民のみんなでやるとよいこと」について自分の意見を書いているもの	◎	11.2	0.7
				12	「お年よりが自分でやるとよいこと」について自分の意見を書いているもの	◎	1.7	0.3
				13	上記3つの分類以外の視点で、自分の意見を書いているもの （例）税金、福祉・介護の充実、環境改善など	◎	37.2	1.2
				21	問題文のパソコンに書かれている内容とほぼ同じことを書いているもの	○	0.7	0.2
				90	課題の解決になっていないことを書いているもの		15.9	1.1
				98	上記以外の解答		5.9	0.6
				99	無解答		－	－

（◎：正答、○：準正答）

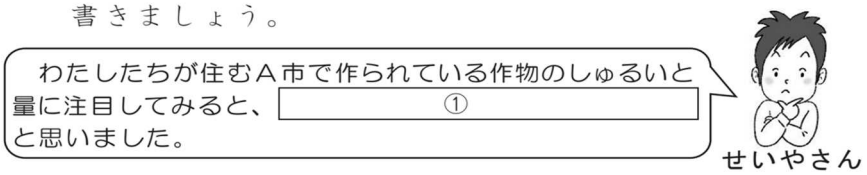
３Ｂ３（１）

第３学年（２）ア（ア）イ（ア）「地域に見られる生産の仕事」
作物の種類と生産量に着目して、問いを見いだしている

3 次の表を見て、あとの問題に答えましょう。

Ａ市で作られている作物	作られている量（りょう）
トマト	30　トン
米	10　トン
ダイコン	4　トン
ニンジン	3　トン
キュウリ	2　トン

(1)　上の表を見て、せいやさんは次のぎ問をもちました。［①］に入る言葉としてもっともふさわしいものを次の１から４の中から１つえらび、その番号を□の中に書きましょう。



１　Ａ市ではトマトを作っていないのはどうしてだろう
２　Ａ市の南ではなぜ作物を作っていないのだろう
３　Ａ市でトマトが多くつくられているのはなぜだろう
４　野さいを売る店がたくさんあるのはどうしてだろう

□(9)

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
B	3	(1)	①	90	１　と解答しているもの		1.5	0.2
				91	２　と解答しているもの		4.1	0.4
				10	３　と解答しているもの	◎	85.4	0.6
				92	４　と解答しているもの		8.6	0.5
				98	上記以外の解答		0.1	0.1
				99	無解答		0.2	0.1

（◎：正答）

４Ａ３（２）

第４学年（２）ア（イ）イ（イ）「廃棄物を処理する事業」
ごみの分別処理の意味を考えている

(2)　左のＢ市のお知らせに書かれていることは、何のために必要なのでしょうか。最もふさわしいものを、次の１から４の中から１つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

１　ごみが散らばってごみ収集車が交通事故を起こさないようにして、まちの人々の安全な生活を守るため
２　ごみをいつでも自由に出せるようにして、まちの人々の快適で便利な生活を守るため
３　ごみを計画的に処理したり再利用したりして、まちの人々のよりよい環境や健康な生活を守るため
４　高齢者がごみを出しやすくすることにより、まちの人々のくらしやすい環境を守るため

□（10）

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
A	3	(2)		10	３　と解答しているもの	◎	87.2	0.8
				90	１　と解答しているもの		4.2	0.4
				91	２　と解答しているもの		3.7	0.3
				92	４　と解答しているもの		4.4	0.5
				98	上記以外の解答		0.1	0.1
				99	無解答		0.5	0.1

（◎：正答）

４Ａ５（１）

第４学年（４）ア（ア）イ（ア）「県内の伝統や文化」
年表を読み取り、文化財の歴史について理解している

5 地域に昔からあるお城について調べています。

年	できごと
1500年頃	お城がつくられる。
1870年（明治３年）	城に住む人はいなくなったが、様々な行事に使われる地域の自まんのお城となる。
1923年（大正12年）	大地震により、建物や石垣がくずれてしまう。その後市民の協力を呼びかけ修理を進めた。
1960年（昭和35年）	天守閣が再びつくられ、市民は喜んだ。その後、市民の力によって門などが整備されていく。
2016年（平成28年）	10か月かけて、平成の大改修が行われる。

(1) 年表の内容を正しく説明しているものを、次の１から４の中から選び、その番号を□の中に書きましょう。

1 このお城は500年以上前につくられ、近年は市民の力によって、改修が続けられている
2 このお城は約200年前につくられ、近年は市民の力によって改修が続けられている
3 このお城は500年以上前につくられ、城に住んでいる人たちによって改修が続けられている
4 このお城は約200年前につくられ、城に住んでいる人たちによって改修が続けられている

□

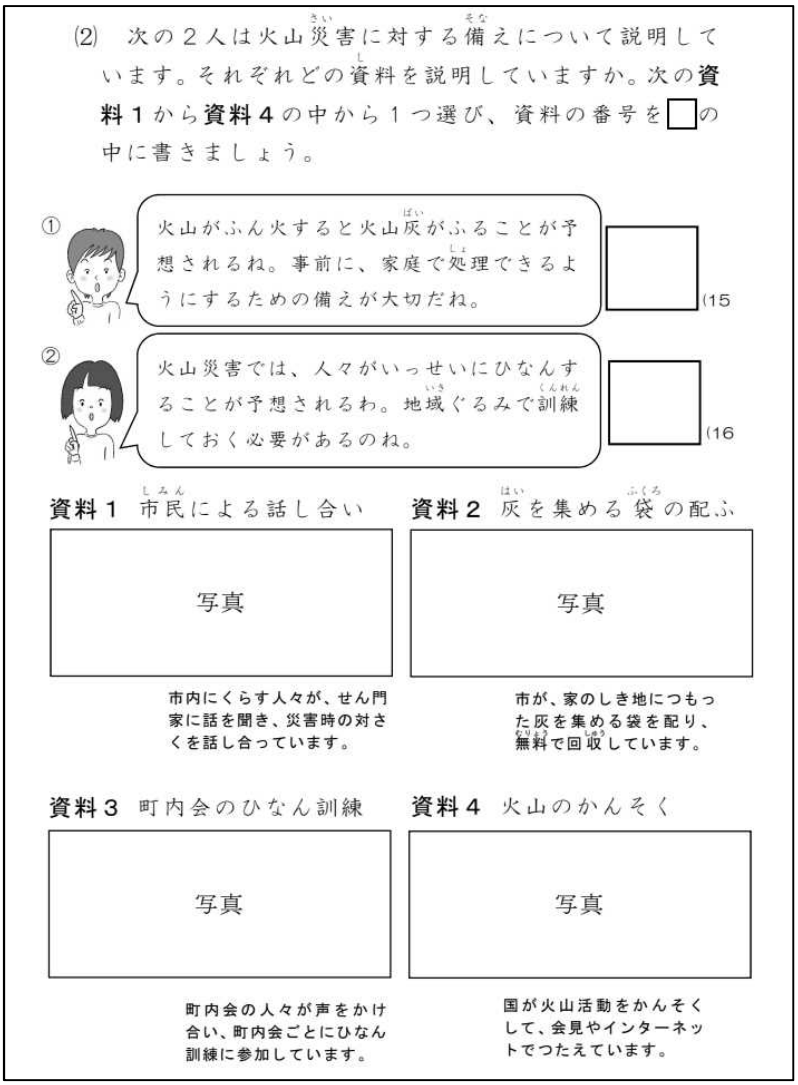
(17

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	5	(1)		10	1 と解答しているもの	◎	72.7	1.1
				90	2 と解答しているもの		11.3	0.8
				91	3 と解答しているもの		9.6	0.6
				92	4 と解答しているもの		4.8	0.4
				98	上記以外の解答		0.0	0.0
				99	無解答		1.5	0.3

（◎：正答）

４Ｂ４（２）①②

第４学年（３）ア（ア）イ（ア）「自然災害から人々を守る活動」
資料を読み取り、想定される災害に対する備えについて理解している



冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
B	4	(2)	①	10	2 と解答しているもの	◎	83.9	0.8
				90	1 と解答しているもの		9.3	0.7
				91	3 と解答しているもの		0.8	0.2
				92	4 と解答しているもの		4.4	0.4
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		1.5	0.3
			②	10	3 と解答しているもの	◎	94.7	0.6
				90	1 と解答しているもの		1.9	0.3
				91	2 と解答しているもの		0.6	0.2
				92	4 と解答しているもの		1.4	0.2
				98	上記以外の解答		0.4	0.1
				99	無解答		1.1	0.2

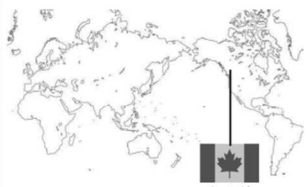
（◎：正答）

４Ｂ６（２）

第４学年（５）ア（ア）イ（ア）「国際交流に取り組んでいる地域」
資料同士を関連付けて、国際交流に取り組む地域の特色を理解している

６　国際交流がさかんなＡ市の取組について、資料を見てあとの問題に答えましょう。

資料①【Ａ市と国際交流のある国】



Ａ市では、カナダにある姉妹都市との交流がさかんで、中学生が互いの国をほう問したり、スポーツ交流会を開いたりしています。

資料②【Ａ市での取組】

日本語を教える活動

交流会

市役所では、外国人が生活を送れるように日本語を教える活動を行っています。小学校では、外国人をまねいて小学生が外国の文化を教わる交流会を開いています。

資料③【地いき住民との交流】

お祭りにさんかする外国人

Ａ市に住む外国人もふえてきています。地域住民が外国人たちに声をかけ、伝統のお祭りをいっしょに行うようになりました。

(2)　Ａ市の人々は、どのような「まちづくり」をめざしていますか。□の中にある**２つの言葉を使って**、文を完成させましょう。　特色　国際交流

このまちの人々は、

□(25)

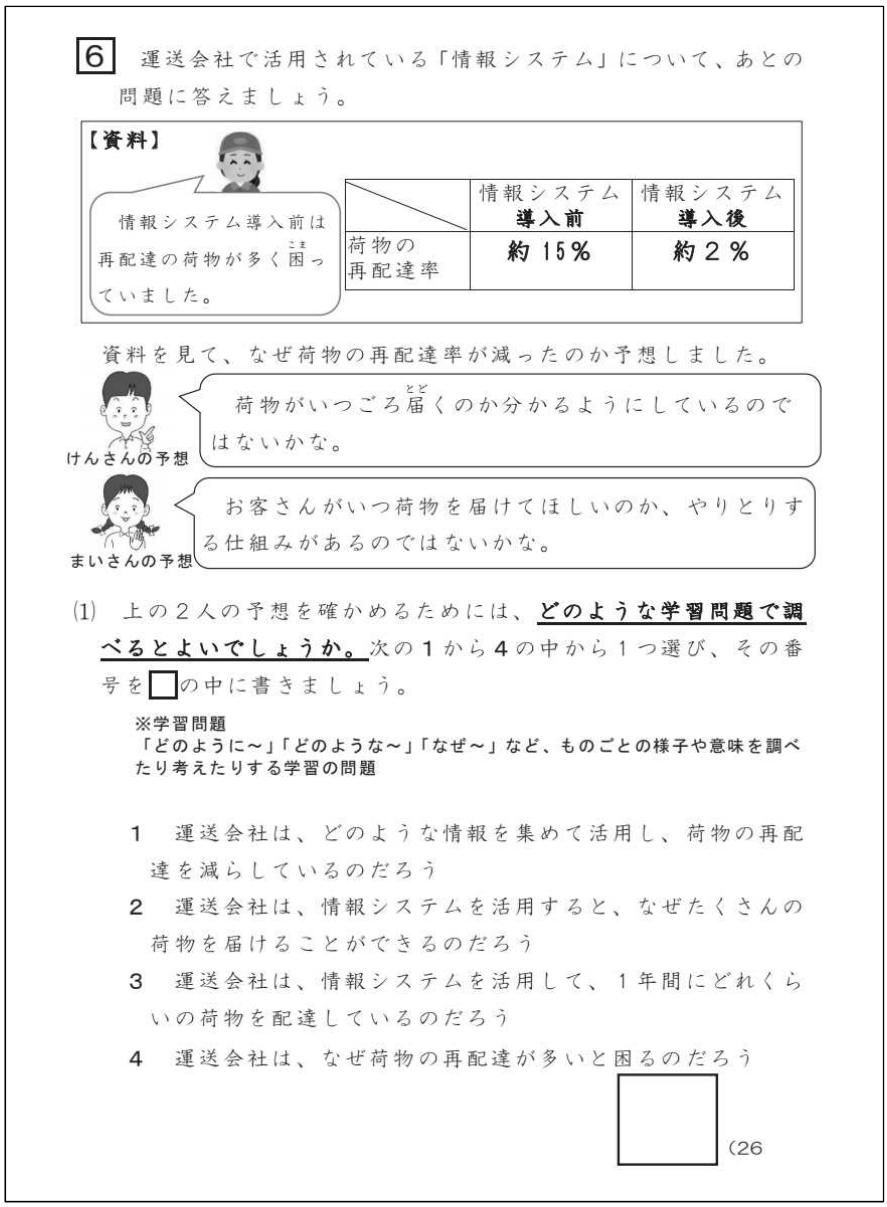
まちづくりをめざしている。

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
B	6	(2)		10	２つの言葉を使用し、国際交流を特色としたまちづくりをめざしていることを書いているもの	◎	25.9	1.2
				90	２つの言葉を使用しているが、抽象的であったり、文意が通らなかったりするもの		45.5	1.1
				91	２つの言葉を使用していないもの		7.7	0.6
				98	上記以外の解答		3.4	0.4
				99	無解答		17.4	0.9

（◎：正答）

５Ａ６(１)

第５学年(４)ア(イ)イ(イ)「情報を生かして発展する産業」
情報の活用の仕方に着目して、問いを見いだしている



６　運送会社で活用されている「情報システム」について、あとの問題に答えましょう。

【資料】

情報システム導入前は再配達の荷物が多く困っていました。

	情報システム 導入前	情報システム 導入後
荷物の再配達率	約 15％	約２％

資料を見て、なぜ荷物の再配達率が減ったのか予想しました。

けんさんの予想：荷物がいつごろ届くのか分かるようにしているのではないかな。

まいさんの予想：お客さんがいつ荷物を届けてほしいのか、やりとりする仕組みがあるのではないかな。

(1)　上の２人の予想を確かめるためには、**どのような学習問題で調べるとよいでしょうか。**次の１から４の中から１つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

※学習問題
「どのように～」「どのような～」「なぜ～」など、ものごとの様子や意味を調べたり考えたりする学習の問題

1　運送会社は、どのような情報を集めて活用し、荷物の再配達を減らしているのだろう
2　運送会社は、情報システムを活用すると、なぜたくさんの荷物を届けることができるのだろう
3　運送会社は、情報システムを活用して、１年間にどれくらいの荷物を配達しているのだろう
4　運送会社は、なぜ荷物の再配達が多いと困るのだろう

□

(26

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
A	6	(1)		10	１　と解答しているもの	◎	53.0	1.0
				90	２　と解答しているもの		25.3	0.9
				91	３　と解答しているもの		12.3	0.7
				92	４　と解答しているもの		8.8	0.6
				98	上記以外の解答		－	－
				99	無解答		0.6	0.1

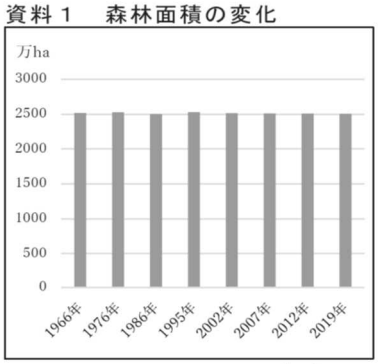
（◎：正答）

５Ａ7（１）

第５学年（５）ア（イ）イ（イ）「森林資源の保護」
２つのグラフから日本の森林面積や森林の蓄積量の変化を正しく読み取り、日本の森林資源の現状を理解している

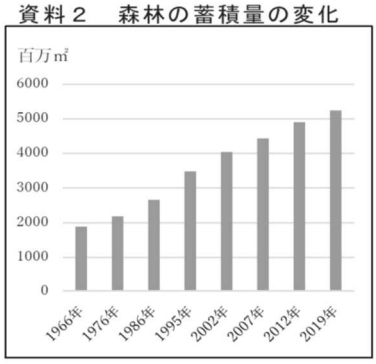
7　日本の国土保全の様子について、あとの問題に答えましょう。

資料１　森林面積の変化



（林野庁調べ）

資料２　森林の蓄積量の変化



（林野庁調べ）

※森林の蓄積量…木材として使える森林の量

(1)　あきこさんは上の２つの資料を説明しています。［　　］の中に当てはまる言葉としてもっともふさわしいものを、次の１から４の中から１つ選び、その番号を［　］の中に書きましょう。

あきこさん

日本の森林面積はほぼ変化していないのに、森林の蓄積量は年々増加しています。つまり、木材として使える森林の量が［　　　　］ということです。

１　増えている　　２　減っている
３　変わらない　　４　増えたり減ったりしている

［　　］(30

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
A	7	(1)		10	１　と解答しているもの	◎	70.3	1.2
				90	２　と解答しているもの		20.5	1.0
				91	３　と解答しているもの		4.3	0.4
				92	４　と解答しているもの		4.3	0.5
				98	上記以外の解答		0.2	0.1
				99	無解答		0.4	0.1

（◎：正答）

５Ｂ５（３）

第５学年（２）ア（イ）イ（イ）「我が国の食料生産」
　資料から読み取った取組を基に、立場を選んで持続可能な水産業の在り方について考えようとしている

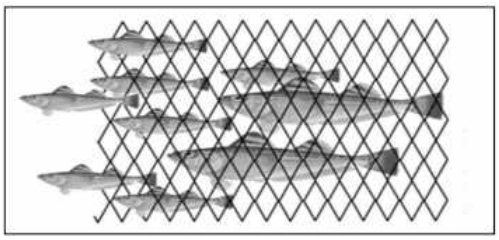
(3)　次のテーマで討論します。あなたは、どの資料を使って意見を伝えますか。次の１から３の中から資料を１つ選び、その資料をもとに考えた自分の意見を［　　］の中に書きましょう。

テーマ　わたしたちがこれからも豊かな水産物を食べ続けるためには、だれのどのような努力が必要なのでしょう。

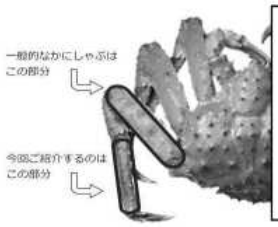
選んだ資料　　自分の意見

（１９

１【生産者】
わたしは、魚をとるあみを工夫している



２【販売者】
わたしは、今まですてしまっていた水産物も売るようにしている



写真

３【消費者】
わたしは、右のような持続可能な漁業で獲られた水産物として認められたラベルがついた商品を買っている

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
B	5	(3)		10	１を選び、生産者が水産資源を保護する努力について書いているもの	◎	3.5	0.4
				11	１を選び、生産者が小さな魚をにがす努力について書いているもの	◎	15.5	1.0
				12	２を選び、販売者が水産物を有効活用する努力について書いているもの	◎	11.9	0.6
				13	２を選び、販売者が水産物をむだにしないで売る努力について書いているもの	◎	6.9	0.6
				14	３を選び、消費者が水産資源保護の活動に協力する努力について書いているもの	◎	0.5	0.1
				15	３を選び、消費者が海のエコラベルがついた水産物を買う努力について書いているもの	◎	9.3	0.6
				20	１を選び、販売者が水産資源を取り過ぎない努力について書かれているもの	○	0.3	0.1
				21	２を選び、消費者として、捨てられてしまう水産資源を買う努力について書かれているもの	○	5.9	0.5
				22	３を選び、海のエコラベルの大切さを知らせ広める努力について書いているもの	○	0.0	0.0
				98	上記以外の解答		43.5	1.0
				99	無解答		2.6	0.4

（◎：正答、○：準正答）

５Ｂ７（１）（２）（３）①②

第５学年（４）ア（イ）イ（イ）「情報を生かして発展する産業」
販売の様子の変化から販売における情報の活用を理解している。
学習問題について予想を立て、解決の見通しをもとうとしている
情報の活用の仕方について調べる学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている

7 Ａスーパーマーケットの販売の様子に関する資料を見て気付いたことを話し合い、学習問題について考えています。

※学習問題
「どのように～」「どのような～」「なぜ～」など、ものごとの様子や意味を調べたり考えたりする学習の問題

＜ＰＯＳシステム導入前＞

品物	あんパン
仕入れ	４５こ
売れた数	３３こ
売れ残り	１２こ

POS レジ

＜ＰＯＳシステム導入後＞

品物	あんパン
仕入れ	３７こ
売れた数	３５こ
売れ残り	２こ

(1) 資料から、あんパンについて、ＰＯＳシステムが導入される前と後を比べて、分かることとして正しいものはどれでしょう。次の１から４の中から１つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

１ あんパンは仕入れの数が減り、売れた数は増えている。そして、売れ残りは 10 こも減っている。

２ あんパンは仕入れの数が増え、売れた数は減っている。そして、売れ残りは 10 こも減っている。

３ あんパンは仕入れの数が増え、売れた数も増えている。そして、売れ残りは 10 こも増えている。

４ あんパンは仕入れの数が減り、売れた数も減っている。そして、売れ残りは 10 こも増えている。

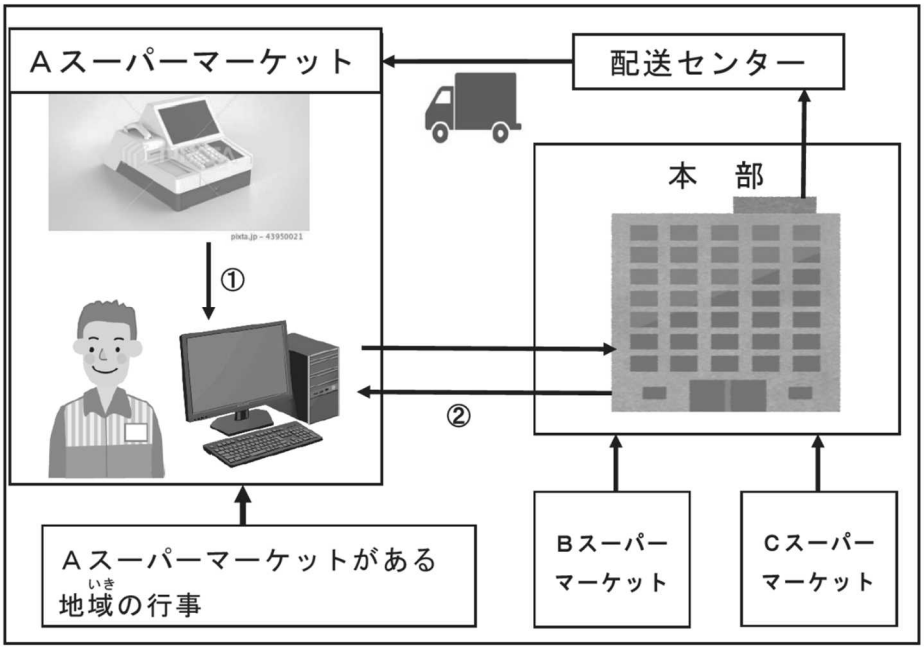
□ (24

＜話し合いをもとに学級で考えた学習問題＞

どのような情報を使って売れ残りを減らしているのだろう

学習問題について、学級で予想したことを話し合い、下の図のように整理しました。

＜予想をもとにして作成した情報の流れ図＞



(2)　学級で考えた学習問題の予想として、ふさわしいものを次の1から4の中から**2つ選び**、その番号を□の中に書きましょう。

1　ＰＯＳシステムで記録されている売れた品物の種類と個数から、売れる数をできるだけ正確に予想しているからではないか

2　よく売れている人気のＢスーパーマーケットの仕入れた品物の種類と数をそっくりまねしているのではないか

3　本部がＡスーパーマーケットの希望を聞かずに品物を送っているからではないか

4　本部が集めた情報をもらって、何が売れているかを分析(せき)しているからではないか

□ □ (25

(3)　学習問題を解決するために、左の図の中の①と②についてどのように調べますか。1から4の中から**それぞれ1つずつ**選び、□の中に書きましょう。

1　ＰＯＳレジの作り方について、ＰＯＳレジの生産工場を見学して調べる

2　ＰＯＳレジでどのような情報を集めているのかについて、コンピューターに送られたデータ画面から調べる

3　本部からＡスーパーマーケットにどのような情報を伝えているかについて、本部の人に質問して調べる

4　Ａスーパーマーケットに品物を運ぶための本部からの指示について、配送センターで働く人に質問して調べる

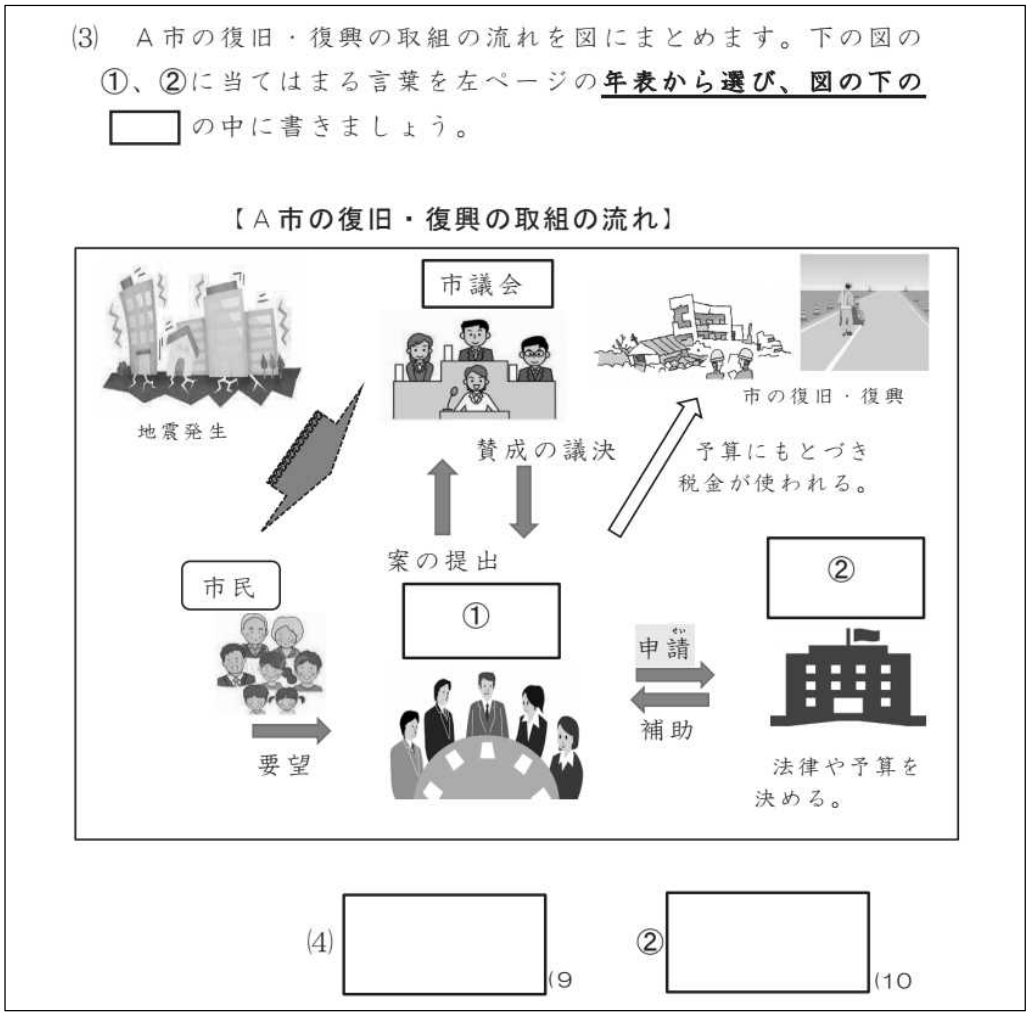
① □ (26　　② □ (27

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
B	7	(1)		10	1 と解答しているもの	◎	84.8	0.8
				90	2 と解答しているもの		8.1	0.7
				91	3 と解答しているもの		4.3	0.4
				92	4 と解答しているもの		2.7	0.3
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		0.1	0.1
		(2)		10	1と4 と解答しているもの	◎	81.8	1.0
				90	1と2 と解答しているもの		1.6	0.2
				91	1と3 と解答しているもの		3.7	0.4
				92	4と2 と解答しているもの		6.2	0.5
				93	4と3 と解答しているもの		3.1	0.3
				98	上記以外の解答		3.0	0.3
				99	無解答		0.5	0.1
		(3)	①	90	1 と解答しているもの		10.8	0.6
				10	2 と解答しているもの	◎	71.3	1.0
				91	3 と解答しているもの		13.9	0.7
				92	4 と解答しているもの		3.5	0.4
				98	上記以外の解答		－	－
				99	無解答		0.6	0.1
			②	90	1 と解答しているもの		2.7	0.3
				91	2 と解答しているもの		8.2	0.6
				10	3 と解答しているもの	◎	60.2	1.0
				92	4 と解答しているもの		28.4	0.8
				98	上記以外の解答		0.1	0.1
				99	無解答		0.5	0.1

（◎：正答）

６Ａ４(３)①②

第６学年(１)ア(ア)イ(ア)「我が国の政治の働き」
市民、市役所、市議会、国の関係性を図にまとめ、政治の仕組みを理解している



冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
Ａ	４	(3)	①	10	「市役所」と解答しているもの	◎	39.6	1.2
				11	市、Ａ市と解答しているもの	◎	9.6	0.7
				20	「役所」と解答しているもの	○	0.0	0.0
				90	「役場」、「町役場」、「村役場」		－	－
				98	上記以外の解答		45.2	1.0
				99	無解答		5.5	0.5
			②	10	国と解答しているもの	◎	50.6	1.1
				20	国の予算	○	0.1	0.0
				90	国の役所 、○○省（庁）		－	－
				91	議員、国会議員、国会		10.6	0.6
				98	上記以外の解答		33.1	1.0
				99	無解答		5.7	0.5

（◎：正答、○：準正答）

６Ａ８（２）（３）

第６学年（２）（ケ）「我が国の歴史上の主な事象」

年表中の出来事に着目して、まちの変化の要因について解決の見通しをもとうとしている

予想の確かめるために必要な情報を選択し、問題解決の見通しをもとうとしている

(2) あきらさんたちは、**資料１**、**資料２**を見ながら学級で話し合い、「なぜ、まちの様子が変わったのだろうか」という学習問題をつくりました。そして、あきらさんとりえさんは、それぞれ次のような予想を立てました。

あきらさん

「国が工場をつくり、新しい時代に必要な産業を発展させたからではないかな。」

りえさん

「開国をしてから、さまざまな外国のものが国内に入ってくるようになったからではないかな。」

あきらさんは、**資料３**の年表の中のどのできごとをもとに予想したのでしょう。前のページの年表の**ア**から**エ**の中から１つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

あきらさん

□ (23

(3) りえさんの予想をたしかめるためには、どのようなことを調べればよいでしょうか。次の１から６の中から**２つ選び**、その番号を□の中に書きましょう。

１　新しい全国の治め方　　２　外国との貿易の様子

３　西洋化する人々のくらし　　４　国がつくった工場の数

５　新しい税のしくみ　　６　外国との戦争

りえさん

□□ (24

資料１　江戸幕府が政治を行ったころの日本橋

資料２　明治の初めごろの日本橋

資料３　幕末から明治の初めの年表

年	主なできごと
1853	・ペリーが浦賀に来る
1854	・日米和親条約を結ぶ
1858	・五か国と修好通商条約を結ぶ　ア
1867	・徳川慶喜が政権を朝廷に返す
1868	・明治天皇の名で五か条のご誓文が出される・・・　イ
1872	・学制が公布される ・官営富岡製糸場ができる　ウ
1873	・徴兵令が出される・・・　エ ・地租改正が行われる

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
A	8	(2)		10	ウ　と解答しているもの	◎	87.6	0.7
				90	ア　と解答しているもの		7.1	0.5
				91	イ　と解答しているもの		2.8	0.3
				92	エ　と解答しているもの		1.8	0.3
				98	上記以外の解答		0.1	0.1
				99	無解答		0.6	0.2
		(3)		10	２（外国との貿易の様子）、３（西洋化する人々のくらし）　と解答しているもの（完答・順不同）	◎	59.1	1.0
				90	１、２　を選択しているもの		6.9	0.5
				91	１、３　を選択しているもの		1.5	0.2
				92	１、４　を選択しているもの		1.1	0.2
				93	１、５　を選択しているもの		0.7	0.1
				94	１、６　を選択しているもの		0.6	0.2
				95	２、４　を選択しているもの		8.6	0.5
				96	２、５　を選択しているもの		8.1	0.5
				97	２、６　を選択しているもの		8.5	0.6
				9a	３、４　を選択しているもの		1.3	0.3
				9b	３、５　を選択しているもの		0.9	0.2
				9c	３、６　を選択しているもの		0.9	0.2
				9d	４、５　を選択しているもの		0.4	0.1
				9e	４、６　を選択しているもの		0.7	0.1
				9f	５、６　を選択しているもの		0.4	0.1
				98	上記以外の解答（１つが無解答）		0.2	0.1
				99	無解答（２つとも無解答）		0.1	0.1

（◎：正答）

６Ａ９（１）

第６学年（３）ア（イ）イ（イ）「グローバル化する世界と日本の役割」
　温暖化に関する資料から地球温暖化の原因や影響を読み取り、世界規模で起きている環境問題を理解している

9 日本の国際協力について、次の資料を読んで、あとの問題に答えましょう。

資料１
太平洋の島国　ツバルの様子

写真

資料２
1979年（左）と2011年（右）の北極圏の氷の様子

写真（1979年）

写真（2011年）

CO_2などの温室効果ガスが増えたことで、地球温暖化が進んでいます。温暖化によって南極や北極の氷がとけています。海水面が上昇したことで、国土が水没する危機にある国もあります。また、これまでとれていた作物が育てられなくなるなど、今までは考えられなかった異常気象も起きています。

(1) 上の**資料１**、**資料２**から読み取れることを次の**１**から**４**の中から１つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

１ 温暖化と海水面の上昇は関係がない。なぜならCO_2が増えても氷はとけないからである。
２ 温暖化が原因で農業が行われなくなった。なぜなら北極圏では農業が行われていないからである。
３ 2011年の北極圏の氷は1979年と比べて小さくなっている。海水面が上昇したことが国土に影響する国もある。
４ ツバルはアフリカ大陸の国である。アフリカ大陸は北極圏に近く、海水面の上昇の影響を受けやすい。

□ (25

冊子	問題番号 大問	中問	小問	解答類型		正答	反応率(%) 割合	標準誤差
A	9	(1)	①	10	３　と解答しているもの	◎	84.8	0.7
				90	１　と解答しているもの		2.2	0.3
				91	２　と解答しているもの		4.1	0.4
				92	４　と解答しているもの		8.7	0.5
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		0.1	0.1

（◎：正答）

６Ｂ２（１）（２）（３）

第６学年（１）ア（ア）イ（ア）「我が国の政治の働き」
裁判員制度という用語を理解している
制度と国民生活とを関連付けて裁判員制度の意義を考えている
裁判員制度への関わり方を考えようとしている

２ 裁判に関することについて、あとの問題に答えましょう。

(1) 平成21年から始まった国民が裁判に参加する制度を何といいますか。当てはまる言葉を［　　］の中に書きましょう。

写真

【裁判所の様子】

［　　］制度 (5

(2) 裁判に参加する制度について話し合っています。

法律が関わって難しい感じがする。わたしたち国民の中には、裁判のことをよく知らない人がいるよね。

専門的な知識がない自分が判決に関わることになると、ひ告人の運命に重い責任を感じてしまうな。

裁判官

君たちのように感じている国民が多いと思います。でも、この制度には大きな意味があるのですよ。

裁判官が言う「大きな意味」について、当てはまるものを次の１から４の中から**２つ選び**、その番号を□の中に書きましょう。

１　専門的な知識がなくても 18 才以上の国民は裁判に関わる可能性があるので、国民が裁判に関心をもつようになる

２　国民の意見が加わることで、国民にとって裁判が身近になるよさがある

３　参加者が裁判を直接見られるようになることで、選挙の大切さが分かるよさがある

４　国民が裁判を経験することで、全国に裁判所が広がっていくよさがある

［　　］［　　］(6

(3)　あなたは将来、この制度に基づいて裁判に参加するかもしれません。その時にはどんな考えで参加しようと思いますか。

（7

また、そのためには、これからどんな準備をしていくことが大切だと考えますか。

（8

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
B	2	(1)		10	「裁判員」 と書いているもの	◎	23.1	1.6
				90	「裁判」 と書いているもの		11.9	0.8
				91	「国民の（司法）参加」 と書いているもの		1.4	0.3
				98	上記以外の解答		46.9	1.4
				99	無解答		16.6	1.2
		(2)		10	１・２ と解答しているもの	◎	43.3	1.3
				90	１・３ と解答しているもの		22.7	0.9
				91	１・４ と解答しているもの		7.1	0.5
				92	２・３ と解答しているもの		16.5	0.7
				93	２・４ と解答しているもの		8.1	0.5
				94	３・４ と解答しているもの		2.0	0.3
				98	上記以外の解答		0.1	0.1
				99	無解答		0.2	0.1
		(3)	①	10	「法律を意識する」「法に則って考える」など法律に関わることを書いているもの	◎	4.2	0.4
				11	「公平に判断するようにする」「よく話を聞くようにする」など公平、公正に関わることを書いているもの	◎	12.9	0.8
				12	「責任感をもつ」「正しく判断する」「自分の意見をもつ」など、国民としての責任に関わることを書いているもの	◎	12.7	0.7
				13	「頑張ろうと思う」「難しいかもしれないけれど、やり遂げたい」など、意欲に関わることを書いているもの	◎	32.4	1.4
				98	上記以外の解答		28.2	1.1
				99	無解答		9.5	0.8
			②	10	知識や人間性を高めることについて複合的に書いているもの	◎	1.4	0.2
				11	「法律を勉強する」「社会の出来事に関心をもつ」など、知識を高めることについて書いているもの	◎	21.1	0.9
				12	「悪いことをしない」「責任感をもつ」「人のことを考える」など、人間性を高めることについて書いているもの	◎	24.6	0.9
				90	「勉強する」など具体性に欠けるが、関心を広げることに関わって自分の取り組みを書いているもの		31.7	1.0
				98	上記以外の解答		10.2	0.7
				99	無解答		11.0	0.8

（◎：正答）

６Ｂ４（１）

第６学年２ア(カ)「我が国の歴史上の主な事象」
　航路や関わる国の広がりに着目し、戦国大名とヨーロッパとの関わりについて問いを見いだしている

4 次の資料を見て、あとの問題に答えましょう。

(1) ななみさんたちは、資料１を見て考えたことをタブレット端末(たんまつ)に書きこみ、互(たが)いの考えを共有しています。

資料１「戦国大名とヨーロッパとの交流」

【船の航路】	【貿易船の様子】
地図	イラスト

【タブレット端末上の画面】

資料から考えたこと

（ななみ）
このころ、ヨーロッパの国と関わろうとする戦国大名が現れた。

（ひろし）
これまでの学習では、中国との関わりが多かった。

（さちこ）
遣隋使(けんずいし)や遣唐使(けんとうし)とは、交流の目的がちがうかもしれない。

戦国大名と外国との関わりについて、３人はどのような疑問をもったと考えられますか。当てはまるものを次の１から４の中から１つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

1　戦国大名は、どの航路でヨーロッパと交流したのだろうか
2　ヨーロッパとの交流には、戦国大名にとってどのようなよさがあるのだろうか
3　戦国大名はどのような方法でヨーロッパと戦っていたのだろうか
4　戦国大名はどのように周りの大名たちをたおしたのだろうか

□ (12

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
B	4	(1)		10	２と解答しているもの	◎	64.3	1.1
				90	１と解答しているもの		21.6	0.7
				91	３と解答しているもの		8.9	0.6
				92	４と解答しているもの		4.8	0.4
				98	上記以外の解答		－	－
				99	無解答		0.5	0.1

（◎：正答）

６Ｂ６（１）アイウエ

第６学年（２）ア（コ）「我が国の歴史上の主な事象」
明治時代の国際的地位が向上した頃に活躍した人物を理解している

6 次の年表を見て、あとの問題に答えましょう。

年	主なできごと
1871	・日本の使節団が欧米（おうべい）の視察に出かけて、不平等な条約の改正をうったえるが、失敗する
1886	・ノルマントン号事件が起こる
1889	・（ア）がまとめた憲法草案をもとにつくられた大日本帝国（ていこく）憲法が発布される
1890	・第一回帝国議会が開かれる
1894	・（イ）が、イギリスとの間で条約の一部を改正することに成功する ・日清戦争が始まり、日本が勝利をおさめる（～1895）
1904	・日露（にちろ）戦争が始まり、（ウ）が率いる艦隊（かんたい）がロシア艦隊を破る。日本が勝利をおさめる（～1905）
1911	・（エ）が、条約改正を達成する･･･①

(1) アからエに当てはまる人物名を、次の１から６の中から<u>それぞれ１つずつ選び</u>、その番号を□の中に書きましょう。

1 陸奥宗光（むつむねみつ）　2 大隈重信（おおくましげのぶ）

3 東郷平八郎（とうごうへいはちろう）　4 伊藤博文（いとうひろぶみ）

5 小村寿太郎（こむらじゅたろう）　6 板垣退助（いたがきたいすけ）

ア □(20　イ □(21　ウ □(22　エ □(23

冊子	問題番号			解答類型		正答	反応率(%)	
	大問	中問	小問				割合	標準誤差
B	6	(1)	ア	10	4 と解答しているもの	◎	46.2	1.3
				90	1 と解答しているもの		13.5	0.9
				91	2 と解答しているもの		13.6	0.7
				92	3 と解答しているもの		5.1	0.4
				93	5 と解答しているもの		6.4	0.5
				94	6 と解答しているもの		14.0	0.8
				98	上記以外の解答		0.0	0.0
				99	無解答		1.2	0.2
			イ	10	1 と解答しているもの	◎	49.6	1.6
				90	2 と解答しているもの		6.8	0.6
				91	3 と解答しているもの		5.2	0.5
				92	4 と解答しているもの		9.7	0.6
				93	5 と解答しているもの		17.4	0.9
				94	6 と解答しているもの		10.2	0.7
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		1.1	0.3
			ウ	10	3 と解答しているもの	◎	64.1	1.7
				90	1 と解答しているもの		6.3	0.5
				91	2 と解答しているもの		9.7	0.5
				92	4 と解答しているもの		4.8	0.5
				93	5 と解答しているもの		5.5	0.6
				94	6 と解答しているもの		8.4	0.6
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		1.1	0.2
			エ	10	5 と解答しているもの	◎	48.6	1.8
				90	1 と解答しているもの		15.0	0.7
				91	2 と解答しているもの		7.4	0.6
				92	3 と解答しているもの		4.0	0.5
				93	4 と解答しているもの		9.6	0.6
				94	6 と解答しているもの		14.2	0.9
				98	上記以外の解答		0.1	0.0
				99	無解答		1.2	0.3

（◎：正答）

4．総括表

ペーパーテスト調査結果の主な観点
① 今回の改訂の基本方針に関する事項の実現状況、課題等
② 各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）の実現状況、課題等
③ 従来、課題とされている事項の実現状況、課題等

学年	冊子	問題番号			出題のねらい	ペーパーテスト調査結果の主な観点（主な特色の該当番号）	学習指導要領該当項目	評価の観点			出題形式				通過率（%）	±5%適応題
		大問	中問	小問				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	その他		
3	A	1	(1)	①	地図を読み取り、四方位（南北）を理解している。	③アイ	(1)ア(ア)	○				○			70.9	
3	A	1	(1)	②	地図を読み取り、四方位（東西）を理解している。	③アイ	(1)ア(ア)	○				○			50.9	
3	A	1	(2)	ア	主な地図記号（消防署）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				83.4	
3	A	1	(2)	イ	主な地図記号（神社）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				90.7	
3	A	1	(2)	ウ	主な地図記号（田）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				69.5	
3	A	1	(3)		資料を読み取り、市役所の働きを理解している。	①ア(カ)②ア(イ)	(1)ア(ア)	○			○				73.7	
3	A	2	(1)		地図を読み取り、土地利用の様子を理解している。	①ア(カ)③イ	(1)ア(ア)	○			○				77.2	
3	A	2	(2)		調べたことをまとめ、市の様子を大まかに（場所による違いを）理解している。	①ア(コ)	(1)ア(ア)	○			○				55.8	
3	A	2	(3)		身近な地域や自分が住む市区町村に関心をもっている	①ア(シ)	(1)			○					－	
3	A	3	(1)		産地の分布に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)イ(ア)		○		○				79.8	
3	A	3	(2)		ふり返ったり見直したりして、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(2)アイ(ア)			○	○				49.6	
3	A	3	(3)		資料を関連付けて、農家の仕事に見られる工夫や努力を考えている。	①(ク)	(2)イ(ア)		○		○				87.6	
3	A	4	(1)		学習問題について、解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)	(2)アイ(イ)			○	○				44.2	
3	A	4	(2)		資料を関連付けて、他地域や外国から品物を仕入れている理由を考えている。	①(ク)	(2)イ(イ)		○		○				69.8	
3	A	4	(3)	①	販売者の工夫と消費者の願い（調理しなくてよい）を関連付けて、売り上げを高める工夫を考えている。	①(ク)	(2)イ(イ)		○		○				62.3	
3	A	4	(3)	②	販売者の工夫と消費者の願い（商品のよさを知りたい）の関連づけて、売り上げを高める工夫を考えている。	①(ク)	(2)イ(イ)		○		○				80.3	
3	A	5	(1)		緊急時への備えや対応に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(3)イ(ア)		○		○				69.8	
3	A	5	(2)		ふり返ったり見直したりして、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(3)アイ(ア)			○	○				72.1	
3	A	5	(3)		地図と消火設備を関連付けて、消防設備の配置の意図を考えている。	①ア(ケ)③イ	(3)イ(ア)		○				○		52.1	
3	A	6	(1)	①	資料を読み取り、消防署の働きを理解している。	①ア(キ)	(3)ア(ア)	○			○				53.1	
3	A	6	(1)	②	資料を読み取り、地域の働きを理解している。	①ア(キ)	(3)ア(ア)	○			○				27.3	
3	A	6	(2)		調べたことをまとめ、関係機関が地域の人々と協力して火災防止に努めていることを理解している。	①ア(コ)	(3)ア(ア)	○			○				71.1	
3	A	6	(3)		地域の人の協力が少なくなっているという課題について、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしている。	①ア(サ)	(3)イ(ア)		○				○		43.4	
3	A	7	(1)		グラフを読み取り、市の人口推移の様子を理解している。	①ア(キ)②ア(ア)	(4)ア(ア)	○			○				80.4	
3	A	7	(2)		資料を関連付けて、お年寄りが暮らしやすい方法を考えている。	①ア(ケ)②ア(ア)	(4)イ(ア)		○		○				64.6	
3	A	7	(3)		これからの市の発展について考えようとしている。	①ア(シ)②ア(ア)	(4)アイ(ア)			○			○		78.2	
3	B	1	(1)	ア	四方位（東西）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			69.5	
3	B	1	(1)	イ	四方位（南北）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			81.2	
3	B	1	(2)	ア	主な地図記号（警察署）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				86.8	
3	B	1	(2)	イ	主な地図記号（博物館）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				87.2	
3	B	1	(2)	ウ	主な地図記号（畑）を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				63.3	
3	B	1	(3)		市役所の働きを理解している。	②ア(ア)	(1)ア(ア)	○			○				78.1	
3	B	2	(1)		地図を読み取り、土地利用の様子を理解している。	①ア(カ)③イ	(1)ア(ア)	○			○				66.5	
3	B	2	(2)		調べたことをまとめ、市の様子を大まかに（場所による違いを）理解している。	①ア(コ)	(1)ア(ア)	○			○				65.2	
3	B	3	(1)		作物の種類と生産量に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)イ(ア)		○		○				85.4	
3	B	3	(2)		ふり返ったり見直したりして、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(2)アイ(ア)			○	○				56.6	
3	B	3	(3)		資料を関連付け、生産の仕事と地域の人々の生活との関連を考えている。	①ア(ケ)	(2)イ(ア)		○				○		16.7	

3	B	4	(1)		学習問題について、解決の見通しをもとうとしている。	①(エ)	(2)アイ(ア)			○			○		22.4	
3	B	4	(2)		資料を関連付けて、他地域や外国から品物を仕入れている理由を考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(2)イ(イ)		○		○				82.0	
3	B	4	(3)	①	資料を関連付けて、売り上げを高める工夫（安さ）を考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(2)イ(イ)		○		○				84.8	
3	B	4	(3)	②	資料を関連付けて、売り上げを高める工夫（新鮮さ）を考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(2)イ(イ)		○		○				76.7	
3	B	5	(1)		緊急時への備えや対応に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(3)イ(ア)		○		○				72.2	
3	B	5	(2)		ふり返ったり見直したりして、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(3)アイ(ア)			○	○				72.8	
3	B	5	(3)		地図と防犯施設を関連付けて、防犯施設の配置の意図を考えている。	①ア(ケ)	(3)イ(ア)		○				○		85.6	
3	B	6	(1)		図から、地域の人々の取り組みを理解している。	①ア(カ)	(3)ア(ア)	○			○				78.7	
3	B	6	(2)		図から、警察署と地域が連携した取組を理解している。	①ア(カ)	(3)ア(ア)	○			○				61.4	
3	B	6	(3)		調べたことをまとめ、警察署は、地域と連携して、安全を守っていることを理解している。	①ア(コ)	(3)ア(ア)	○			○				69.4	
3	B	6	(4)		事故がなかなか少なくならないという課題について、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしている。	①ア(サ)	(3)イ(ア)		○				○		57.4	
3	B	7	(1)		グラフを読み取り、市の人口推移の様子を理解している。	①(キ)②ア(ア)	(4)ア(ア)	○			○				74.4	
3	B	7	(2)	①	お年寄りが暮らしやすい市になるために、自分たちにもできることを考えている。	①ア(シ)②ア(ア)	(4)イ(ア)		○		○				52.5	
3	B	7	(2)	②	これからの市の発展について考えようとしている。	①ア(シ)②ア(ア)	(4)アイ(ア)			○			○		53.8	
3	B	7	(3)		自分が住む市区町村の昔の様子に関心をもっている	①ア(シ)②ア(ア)	(4)			○			○		－	

学年	冊子	問題番号			出題のねらい	ペーパーテスト調査結果の主な観点（主な特色の該当番号）	学習指導要領該当項目	評価の観点			出題形式				通過率（%）	±5%適応題
		大問	中問	小問				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	その他		
4	A	1	(1)		県の地形の様子を読み取り、地形の特徴を理解している。	①ア(キ)③イ	(1)ア(ア)	○			○				52.3	
4	A	1	(2)		県の交通網の様子を読み取り、交通網の特徴を理解している。	①ア(キ)③イ	(1)ア(ア)	○			○				78.9	
4	A	2	(1)		供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)イ(ア)		○		○				93.6	
4	A	2	(2)	①	人々の健康を支える事業について予想を立てようとしている。	①ア(イ)	(2)イ(ア)			○	○				89.1	
4	A	2	(2)	②	人々の健康を支える事業について学習計画を立てようとしている。	①ア(エ)	(2)イ(ア)			○			○		75.8	
4	A	2	(3)		水が届くまでの資料を読み取り、生活環境を支える事業について理解している。	①ア(カ)	(2)ア(ア)	○				○			60.5	
4	A	2	(4)		水源の森の水が読み水に変わる理由について、三つの言葉を使って考えている。	①ア(ケ)	(2)イ(ア)		○				○		58.5	
4	A	2	(5)		節水や水を汚さないために自分たちに協力できることを考えている。	①ア(サ)	(2)イ(ア)		○				○		88.7	
4	A	3	(1)		ごみは市のきまりに従って処理されていることを理解している。	①ア(カ)	(2)ア(イ)	○			○				92.0	
4	A	3	(2)		ごみの分別処理の意味を考えている。	①ア(ケ)	(2)イ(イ)		○		○				87.2	
4	A	3	(3)		処理の仕組みについて解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)	(2)イ(イ)			○	○				78.0	
4	A	3	(4)		学習したことを振り返ったり見直したりしてさらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(2)アイ(イ)			○	○				84.1	
4	A	4	(1)		資料から、災害に備えた市や県の防災対策を考えている。	①ア(ク)②ア(ア)	(3)イ(ア)		○				○		64.1	
4	A	4	(2)		今後予想される災害に対する備えを理解している。	①ア(コ)②ア(ア)	(3)ア(ア)	○			○				84.9	
4	A	4	(3)		今後予想される災害に対する備えを理解している。	①ア(コ)②ア(ア)	(3)ア(イ)	○			○				70.4	
4	A	4	(4)		自分にできる災害への備えについて考えようとしている。	①ア(シ)②ア(ア)	(3)アイ(ア)			○			○		53.1	
4	A	5	(1)		年表を読み取り、文化財の歴史について理解している。	①ア(オ)②イ	(4)ア(ア)	○			○				72.7	
4	A	5	(2)		資料を関連付けて，保存のための取り組みについて考えている。	①ア(ク)②イ	(4)イ(ア)		○			○			58.3	
4	A	5	(3)	①	既習事項及び生活経験を想起し、伝統や文化の例を伝えようとしている。	①ア(シ)②イ	(4)アイ(ア)			○		○			65.5	
4	A	5	(3)	②	文化財保存のために自分たちに協力できることについて考えようとしている。	①ア(シ)②イ	(4)アイ(ア)			○			○		72.6	
4	A	5	(4)		自分たちが都道府県に残る伝統や文化に関心をもっている。	①ア(シ)②イ	(4)			○					－	
4	A	6	(1)		年表や文章資料から、産業の歴史的背景や人々の協力関係などに着目して、問いを見いだしている。	①ア(エ)	(5)イ(ア)		○		○				72.7	
4	A	6	(2)	①	資料を読み取り、A町の特色あるまちづくりの取組について理解している。	①ア(キ)	(5)ア(ア)	○			○				82.4	
4	A	6	(2)	②	資料を読み取り、A町の特色あるまちづくりの取組について理解している。	①ア(キ)	(5)ア(ア)	○			○				84.2	
4	A	6	(2)	③	資料を読み取り、A町の特色あるまちづくりの取組について理解している。	①ア(キ)	(5)ア(ア)	○			○				83.3	
4	A	6	(2)	④	資料を読み取り、A町の特色あるまちづくりの取組について理解している。	①ア(キ)	(5)ア(ア)	○			○				87.2	
4	A	6	(3)		資料を関連付けて、A町の人々が協力しながらまちづくりを進めていることについて考えている。	①ア(ケ)	(5)イ(ア)		○				○		27.1	
4	A	7	(1)		自分の県の地理的位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				92.7	
4	A	7	(2)	①	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				93.6	
4	A	7	(2)	②	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				80.2	
4	A	7	(2)	③	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				81.7	
4	A	7	(2)	④	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				63.7	
4	A	7	(2)	⑤	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				66.2	
4	A	7	(2)	⑥	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				64.3	
4	A	7	(2)	⑦	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				62.0	
4	A	7	(2)	⑧	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				58.7	
4	A	7	(2)	⑨	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				67.2	
4	A	7	(2)	⑩	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				62.8	
4	A	7	(2)	⑪	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				53.7	
4	A	7	(2)	⑫	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				57.7	
4	A	7	(2)	⑬	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				62.8	
4	A	7	(2)	⑭	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				55.6	

4	A	7	(2)	⑮	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				61.3	
4	A	7	(2)	⑯	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				52.3	
4	A	7	(2)	⑰	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				52.6	
4	A	7	(2)	⑱	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				55.3	
4	A	7	(2)	⑲	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				59.2	
4	A	7	(2)	⑳	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				63.1	
4	A	7	(2)	㉑	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				48.4	
4	A	7	(2)	㉒	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				58.2	
4	A	7	(2)	㉓	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				72.9	
4	A	7	(2)	㉔	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				95.3	
4	B	1	(1)		八方位から、湖の位置を理解している。	①ア(カ)③イ	(1)ア(イ)	○				○			70.8	
4	B	1	(2)		縮尺から、2地点間の距離を理解している。	①ア(キ)③イ	(1)ア(イ)	○			○				69.8	
4	B	1	(3)		地理的条件から、県庁所在地の位置を理解している。	①ア(カ)③イ	(1)ア(イ)	○				○			85.0	
4	B	2	(1)		話し合いの様子から、身近な発電設備について理解している。	①ア(カ)	(2)ア(ア)	○			○				76.7	
4	B	2	(2)		供給の仕組みや経路などに着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)イ(ア)		○		○				74.3	
4	B	2	(3)	①	資料を関連付けて、節電に協力すべき理由を考えている。	①ア(ケ)	(2)イ(ア)		○				○		21.5	
4	B	2	(3)	②	三つの資料から一つを選び、既習事項と関連付けて、節電が必要な理由を考えている。	①ア(ケ)	(2)イ(ア)		○				○		59.7	
4	B	2	(4)		電気をむだなく使うために自分たちにできることを考えようとしている。	①ア(シ)	(2)アイ(ア)			○			○		85.4	
4	B	3	(1)	①	年表と資料を読み取り、下水の衛生的な処理について理解している。	①ア(キ)	(2)ア(イ)	○			○				81.9	
4	B	3	(1)	②	年表と資料を読み取り、下水の衛生的な処理について理解している。	①ア(キ)	(2)ア(イ)	○			○				71.2	
4	B	3	(2)		年表や資料を読み取り、下水処理の仕組みが生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。	①ア(コ)	(2)ア(イ)	○				○			77.9	
4	B	3	(3)		図と説明を関連付けて、水の循環の意味を考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○		○				49.3	
4	B	3	(4)		水を汚さないために、自分たちができることについて考えようとしている。	①ア(シ)	(2)アイ(イ)			○			○		32.2	
4	B	4	(1)		資料を読み取り、過去に起きた自然災害の時期について理解している。	①ア(カ)②ア(ア)	(3)ア(ア)	○			○				87.7	
4	B	4	(2)	①	資料を読み取り、想定される災害に対する備えについて理解している。	①ア(ケ)②ア(ア)	(3)ア(ア)	○			○				83.9	
4	B	4	(2)	②	資料を読み取り、想定される災害に対する備えについて理解している。	①ア(ケ)②ア(ア)	(3)ア(ア)	○			○				94.7	
4	B	4	(3)		2つの資料を比較関連させ、災害から人々を守る活動の働きについて考えている。	①ア(ク)②ア(ア)	(3)イ(ア)		○		○				54.7	
4	B	4	(4)		災害への備えについて、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしている。	①ア(サ)②ア(ア)	(3)イ(ア)		○				○		63.7	
4	B	4	(5)		自然災害から自分たちの住む地域を守る活動について関心をもっている。	①ア(シ)②ア(ア)	(3)			○					－	
4	B	5	(1)		年表を読み取り、年中行事の歴史について理解している。	①ア(カ)②イ	(4)ア(ア)	○			○				72.0	
4	B	5	(2)	①	年表とAさんの話を関連付けて、継承のための取組の意味を考えている。	①ア(ケ)②イ	(4)イ(ア)		○		○				93.3	
4	B	5	(2)	②	年表とAさんの話を関連付けて、継承のための取組の意味を考えている。	①ア(ケ)②イ	(4)イ(ア)		○		○				89.1	
4	B	5	(3)	①	既習事項及び生活経験を想起し、伝統や文化の例を伝えようとしている。	①ア(シ)②イ	(4)アイ(ア)			○		○			66.2	
4	B	5	(3)	②	年中行事を守り継いでいくために、自分たちが協力できることについて考えようとしている。	①ア(シ)②イ	(4)アイ(ア)			○			○		62.4	
4	B	6	(1)		A市に住む外国人が増えていることと、A市の取組との関係について解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)②ア(ア)	(5)イ(ア)			○	○				83.3	
4	B	6	(2)		資料同士を関連付けて、国際交流に取り組む地域の特色を理解している。	①ア(コ)②ア(ア)	(5)ア(ア)	○					○		25.9	
4	B	7	(1)		自分の県の地理的位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				93.6	
4	B	7	(2)	①	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				99.1	
4	B	7	(2)	②	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				66.3	
4	B	7	(2)	③	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				71.0	
4	B	7	(2)	④	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				67.4	
4	B	7	(2)	⑤	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				83.3	
4	B	7	(2)	⑥	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				64.9	
4	B	7	(2)	⑦	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				64.1	
4	B	7	(2)	⑧	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				61.0	
4	B	7	(2)	⑨	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				70.7	
4	B	7	(2)	⑩	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				58.4	
4	B	7	(2)	⑪	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				77.2	
4	B	7	(2)	⑫	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				84.8	
4	B	7	(2)	⑬	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				56.4	

4	B	7	(2)	⑭	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				61.3	
4	B	7	(2)	⑮	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				61.1	
4	B	7	(2)	⑯	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				68.1	
4	B	7	(2)	⑰	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				60.9	
4	B	7	(2)	⑱	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				64.8	
4	B	7	(2)	⑲	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				61.7	
4	B	7	(2)	⑳	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				59.1	
4	B	7	(2)	㉑	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				62.4	
4	B	7	(2)	㉒	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				60.7	
4	B	7	(2)	㉓	都道府県の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				61.5	

学年	冊子	問題番号			出題のねらい	ペーパーテスト調査結果の主な観点（主な特色の該当番号）	学習指導要領該当項目	評価の観点			出題形式				通過率（%）	±5%適応題
		大問	中問	小問				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	その他		
5	A	1	(1)	ア	世界の主な国の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				50.0	
5	A	1	(1)	イ	世界の主な国の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				87.8	
5	A	1	(1)	ウ	世界の主な国の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				84.0	
5	A	1	(1)	エ	世界の主な国の名称と位置を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				57.0	
5	A	2	(1)		地図から島の位置を読み取り、領土の範囲を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				49.3	
5	A	2	(2)		島が属している都道府県を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			20.6	
5	A	2	(3)		島や領土をめぐる国際関係について理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			23.1	
5	A	2	(4)		大陸や海洋と我が国との位置関係から、世界における我が国の国土の位置を大まかに理解している。	①ア(コ)	(1)ア(ア)	○					○		39.5	
5	A	3	(1)	①	稲作にかかる時間の変化から、生産性が向上していることを理解している。	①ア(キ)	(2)ア(イ)	○			○				60.5	
5	A	3	(1)	②	グラフから稲作にかかる時間の変化を読み取り、生産性が向上していることを理解している。	①ア(キ)	(2)ア(イ)	○			○				83.4	
5	A	3	(2)		作業時間の縮減と農業機械の利用とを関連付けて、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○		○				90.9	
5	A	3	(3)		作業時間の縮減と農業機械の利用とを関連付けて、食料生産に関わる人々の工夫や努力について考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○				○		71.2	
5	A	3	(4)	①②	農産物が消費者に届くまでの流れから、農産物の生産から販売までにかかる費用を理解している。	①ア(コ)②ア(イ)	(2)イ(イ)	○					○		62.4	
5	A	3	(5)		日本の農業に関心をもっている。	①ア(シ)	(2)			○					－	
5	A	4	(1)		海流と漁場について読み取り、自然条件を生かして水産業が営まれていることを理解している。	①ア(コ)	(2)イ(イ)	○			○				73.0	
5	A	4	(2)	①	日本の水産業に関するグラフを関連付けて、水産業の変化を考えている。	①ア(ク)	(2)ア(イ)		○		○				89.0	
5	A	4	(2)	②	日本の水産業に関するグラフを関連付けて、水産業の変化を考えている。	①ア(ク)	(2)ア(イ)		○		○				81.3	
5	A	4	(2)	③	日本の水産業に関するグラフを関連付けて、水産業の変化を考えている。	①ア(ク)	(2)ア(イ)		○		○				98.5	
5	A	4	(3)	ア	消費者や生産者の立場を選び、日本の水産業の発展について多角的に考えている。	①ア(ク)	(2)イ(ア)(イ)		○		○				59.9	
5	A	4	(3)	イ	消費者や生産者の立場を選び、日本の水産業の発展について多角的に考えている。	①ア(ク)	(2)イ(ア)(イ)		○		○				60.0	
5	A	5	(1)	①	グラフから原料の輸入の割合や主な輸出品の変化を読み取り、日本の貿易の様子を理解している。	①ア(キ)②ア(イ)	(3)ア(ウ)	○				○			78.6	
5	A	5	(1)	②	グラフから原料の輸入の割合や主な輸出品の変化を読み取り、日本の貿易の様子を理解している。	①ア(キ)②ア(イ)	(3)ア(ウ)	○				○			81.0	
5	A	5	(2)	①	グラフから輸送手段の割合や変化を読み取り、日本の運輸の様子を理解している。	①ア(キ)②ア(イ)	(3)ア(ウ)	○				○			89.8	
5	A	5	(2)	②	グラフから輸送手段の割合や変化を読み取り、日本の運輸の様子を理解している。	①ア(キ)②ア(イ)	(3)ア(ウ)	○				○			87.1	
5	A	5	(3)	①	地図資料から工場の分布と交通網の広がりを読み取り、工場の立地と交通網との関連を理解している。	①ア(コ)②ア(イ)③イ	(3)ア(ウ)	○			○				59.5	
5	A	5	(3)	②	工場の立地と交通網の広がりとを関連付けて、工業生産と運輸の関連について考えている。	①ア(ケ)②ア(イ)	(3)イ(ウ)		○				○		64.4	
5	A	6	(1)		情報の活用の仕方に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)②ア(ア)	(4)イ(イ)		○		○				53.0	
5	A	6	(2)	①	情報の活用の仕方について調べる学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)②ア(ア)	(4)イ(イ)			○	○				69.9	
5	A	6	(2)	②	情報の活用の仕方について調べる学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)②ア(ア)	(4)イ(イ)			○	○				66.5	
5	A	6	(3)		産業や国民の立場を選んで、これからの情報との関わり方を多角的に考えている。	①ア(サ)②ア(ア)	(4)イ(イ)		○		○				70.6	
5	A	7	(1)		2つのグラフから日本の森林面積や森林の蓄積量の変化を正しく読み取り、日本の森林資源の現状を理解している。	①ア(カ)	(5)ア(イ)	○			○				70.3	
5	A	7	(2)		資料から林業従事者の推移と荒廃林の現状とを関連付けて、日本の森林の課題を考えている。	①ア(キ)	(5)イ(イ)		○		○				83.6	
5	A	7	(3)		資料から関心のある取組を選択し、森林を守り育てるために、自分たちができることについて考えようとしている。	①ア(シ)	(5)イ(イ)			○			○		85.8	
5	B	1	(1)	①	世界の大陸と主な海洋の名称と位置を理解している。	①ア(カ)	(1)ア(ア)	○			○				68.4	
5	B	1	(1)	②	世界の大陸と主な海洋の名称と位置を理解している。	①ア(カ)	(1)ア(ア)	○			○				72.5	
5	B	1	(1)	③	世界の大陸と主な海洋の名称と位置を理解している。	①ア(カ)	(1)ア(ア)	○			○				71.7	
5	B	2	(1)	①	地図から北端の島の位置を読み取り、領土の範囲を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				74.2	
5	B	2	(1)	②	地図から東端の島の位置を読み取り、領土の範囲を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○			○				46.0	
5	B	2	(2)		我が国の領土の東端の島が東京都に属することを理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			59.8	
5	B	2	(3)		地図から緯度、経度を読み取り、日本の国土の位置を理解している。	③アイ	(1)ア(ア)	○			○				40.5	
5	B	3	(1)		基点からの方位を調べ、地球儀の活用の仕方を理解している。	②ア(ウ)	(1)ア(ア)(ウ)	○			○				62.5	
5	B	3	(2)		経線について理解している。	②ア(ウ)	(1)ア(ア)(ウ)	○			○				37.4	

5	B	3	(3)		地球儀の特徴を理解している。	②ア(ウ)	(1)ア(ア)(ウ)	○			○				27.5	
5	B	4	(1)		2つの資料を関連付けて、生産の工夫を考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○		○				73.8	
5	B	4	(2)	①	資料を関連付けて、生産量が多い理由を考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○		○				94.0	
5	B	4	(2)	②	資料を関連付けて、生産量が多い理由を考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○		○				75.3	
5	B	4	(3)		野菜の出荷先までの輸送に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)イ(イ)		○		○				83.3	
5	B	4	(4)		2つの資料を関連付けて、農業の課題を考えている。	①ア(ク)	(2)イ(イ)		○		○				81.2	
5	B	4	(5)		生産者や消費者の立場から農業の発展を多角的に考え、自分の考えをまとめている。	①ア(サ)	(2)イ(イ)		○				○		66.7	
5	B	5	(1)		グラフから漁獲量の減少を読み取り、日本の水産業の様子を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(ア)	○			○				84.0	
5	B	5	(2)		2つのグラフを関連付けて、漁獲量の減少から水産業の課題を考えている。	①ア(ケ)	(2)イ(ア)		○		○				63.5	
5	B	5	(3)		資料から読み取った取組を基に、立場を選んで持続可能な水産業の在り方について考えようとしている。	①ア(シ)	(2)イ (ア)(イ)			○			○		53.9	
5	B	6	(1)		2つのグラフから輸出入品の割合について読み取り、我が国の貿易の様子を理解している。	①ア(キ)②ア(イ)	(3)ア(ウ)	○			○				74.7	
5	B	6	(2)	①	複数の資料を関連付けて、工業生産における運輸の働きを考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(3)イ(ウ)		○		○				89.2	
5	B	6	(2)	②	複数の資料を関連付けて、工業生産における運輸の働きを考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(3)イ(ウ)		○		○				65.7	
5	B	6	(3)		優れた技術に着目して、これからの工業の発展について考えようとしている。	①ア(シ)②ア(イ)	(3)イ(ア)(イ)			○			○		81.4	
5	B	7	(1)		販売の様子の変化から販売における情報の活用を理解している。	①ア(コ)②ア(ア)	(4)ア(イ)	○			○				84.8	
5	B	7	(2)		学習問題について予想を立て、解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)②ア(ア)	(4)イ(イ)			○	○				81.8	
5	B	7	(3)	①	情報の活用の仕方について調べる学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)②ア(ア)	(4)イ(イ)			○	○				71.4	
5	B	7	(3)	②	情報の活用の仕方について調べる学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)②ア(ア)	(4)イ(イ)			○	○				60.2	
5	B	7	(4)		情報を活用する産業に関心をもっている。	①ア(シ)②ア(ア)	(4)			○					－	
5	B	8	(1)		地図から自然災害の分布を読み取り、自然災害の発生状況を理解している。	①ア(カ)②ア(イ)③イ	(5)ア(ア)	○			○				54.2	
5	B	8	(2)	①	自然災害防止の取組から国土や国民生活を守る対策について理解している。	①ア(コ)②ア(イ)	(5)ア(ア)	○			○				96.4	
5	B	8	(2)	②	自然災害防止の取組から国土や国民生活を守る対策について理解している。	①ア(コ)②ア(イ)	(5)ア(ア)	○			○				96.7	

学年	冊子	問題番号			出題のねらい	ペーパーテスト調査結果の主な観点（主な特色の該当番号）	学習指導要領該当項目	評価の観点			出題形式				通過率（%）	±5%適応題
		大問	中問	小問				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	その他		
6	A	1	(1)	ア	国民の祝日とその意義を理解している。	③ア	(1)イ(ア) 内取(1)エ	○			○				95.4	
6	A	1	(1)	イ	国民の祝日とその意義を理解している。	③ア	(1)イ(ア) 内取(1)エ	○			○				84.8	
6	A	2	(1)		日本国憲法の基本的な考え方を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			82.7	
6	A	2	(2)		基本的人権の尊重と国民生活との関わりを考えている。	③ア	(1)イ(ア)		○		○				38.1	
6	A	3	(1)		国会、内閣、裁判所の役割について理解している。	①ア(ケ)③ア	(1)ア(ア) 内取(1)ア	○			○				83.9	
6	A	3	(2)		政治の仕組みと国民生活を関連付けて、国民の政治との関わり方を考えている。	①ア(カ)	(1)イ(イ)		○		○				56.9	
6	A	4	(1)		災害からの復旧・復興に向けた国の取り組みと県や市の取り組みを関連付けて、政治の働きを考えている。	①ア(ケ)②ア(イ)	(1)イ(イ)		○		○				57.0	
6	A	4	(2)		年表から、政治の働きにおける議会の役割を理解している。	①ア(カ)②ア(イ)	(1)ア(イ)	○			○				69.2	
6	A	4	(3)	①	市民、市役所、市議会、国の関係性を図にまとめ、政治の仕組みを理解している。	①ア(コ)②ア(イ)	(1)ア(イ)(ウ)	○				○			49.2	
6	A	4	(3)	②	市民、市役所、市議会、国の関係性を図にまとめ、政治の仕組みを理解している。	①ア(コ)②ア(イ)	(1)ア(イ)(ウ)	○				○			50.7	
6	A	4	(4)		日本の政治に関心をもっている。	①ア(シ)②ア(イ)				○	○		○		－	
6	A	5	(1)		貴族が力をもったころの行事や服装に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)ア(ウ)イ(ア)		○				○		51.6	
6	A	5	(2)		貴族が力をもったころの文化に関わる資料を関連付けて、国風文化の特色を考えている。	①ア(ク)	(2)ア(ウ)イ(ア)		○		○				69.5	
6	A	6	(1)	①	年表から、武士の政治が始まったころに関わる人物を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(エ)	○			○				73.4	
6	A	6	(1)	②	年表から、武士の政治が始まったころに関わる人物を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(エ)	○			○				55.1	
6	A	6	(1)	③	年表から、武士の政治が始まったころに関わる国を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(エ)	○			○				74.0	
6	A	6	(2)		地図資料から戦場の位置や侵攻の経路を読み取り、元との戦いの様子を理解している。	①ア(カ)②ア(イ)③イ	(2)ア(エ)(シ)	○			○				70.5	
6	A	6	(3)		ご恩と奉公の結びつきと具体的事例とを関連付けて、鎌倉時代の武士の政治体制を考えている。	①ア(ケ)	(2)ア(エ)イ(ア)		○		○				27.3	
6	A	7	(1)		室町文化を代表する建造物を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(オ)	○			○				75.8	
6	A	7	(2)		室町文化の建造物に関わる人物を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(オ)	○			○				66.3	
6	A	7	(3)		資料を関連付けて、室町文化の特色を考えている。	①ア(ケ)	(2)ア(オ)イ(ア)		○		○				83.7	
6	A	7	(4)		茶道の事例をもとに、文化の継承を考えようとしている。	①ア(シ)	(2)ア(オ)イ(ア)			○			○		75.6	
6	A	8	(1)		江戸時代から明治時代初期に活躍した人物を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(ケ)	○			○				43.1	
6	A	8	(2)		年表中の出来事に着目して、まちの変化の要因について解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)	(2)ア(ケ)イ(ア)			○	○				87.6	
6	A	8	(3)		予想の検証のために必要な情報を選択し、問題解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)	(2)ア(ケ)イ(ア)			○	○				59.1	
6	A	9	(1)		温暖化に関する資料から地球温暖化の原因や影響を読み取り、世界規模で起きている環境問題を理解している。	①ア(キ)	(3)ア(イ)	○			○				84.8	
6	A	9	(2)		世界の出来事と日本の出来事を関連付けて、世界規模の環境問題に対する日本の関わりを考えている。	①ア(ケ)	(3)イ(イ)		○				○		81.0	
6	A	9	(3)		資料をもとに、世界の人々と共に生きていくために、自分たちができることを考えようとしている。	①ア(シ)	(3)イ(イ)			○			○		67.8	
6	B	1	(1)		日本国憲法の基本的な考え方を理解している。	③ア	(1)ア(ア)	○				○			86.0	
6	B	1	(2)		天皇の地位や仕事を理解している。	③ア	(1)ア(ア) 内取(1)イ	○			○				65.8	
6	B	1	(3)		基本的人権の尊重と国民生活との関わりを考えている。	③ア	(1)イ(ア)		○		○				74.3	
6	B	1	(4)		日本国憲法の考え方をもとに、政治への関わり方を選択・判断している。	①ア(サ)	(1)イ(ア) 内取(1)ア		○		○				89.6	
6	B	2	(1)		裁判員制度という用語を理解している。	①	(1)ア(ア) 内取(1)ア	○				○			23.1	
6	B	2	(2)		制度と国民生活とを関連付けて裁判員制度の意義を考えている。	③ア	(1)イ(ア) 内取(1)ア		○		○				43.3	
6	B	2	(3)	①	裁判員制度への関わり方を考えようとしている。	①ア(シ)	(1)イ(ア) 内取(1)ア			○			○		62.2	
6	B	2	(3)	②	裁判員制度への関わり方を考えようとしている。	①ア(シ)	(1)イ(ア) 内取(1)ア			○			○		47.1	
6	B	3	(1)		年表から施策の経緯を読み取り、国の政治の仕組みを理解している。	①ア(カ)	(1)ア(イ)(ウ)	○			○				64.3	
6	B	3	(2)		政治の仕組みについて図にまとめ、国民と政治との関わりを理解している。	③ア	(1)ア(イ)(ウ)	○			○				66.8	
6	B	3	(3)		これまでの学習をふりかえり、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(1)イ(イ)			○		○			80.8	
6	B	4	(1)		航路や関わる国の広がりに着目し、戦国大名とヨーロッパとの関わりについて問いを見いだしている。	①ア(ア)②ア(イ)	(2)ア(カ)イ(ア)		○		○				64.3	
6	B	4	(2)		全国統一に関わる用語・語句を理解している。	①②ア(イ)	(2)ア(カ)	○				○			66.1	
6	B	4	(3)	①	戦国大名の取り組みとヨーロッパの人々の取り組みの情報を関連付けて、戦国大名とヨーロッパとの関わりを考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(2)ア(カ)イ(ア)		○		○				68.0	

6	B	4	(3)	②	戦国大名の取り組みとヨーロッパの人々の取り組みの情報を関連付けて、戦国大名とヨーロッパとの関わりを考えている。	①ア(ク)②ア(イ)	(2)ア(カ)イ(ア)		○		○				88.8	
6	B	5	(1)		江戸文化に関わる人物を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(ク)	○			○				87.3	
6	B	5	(2)		文化や学問の様子や人物の働きに着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(2)ア(ク)イ(ア)		○				○		35.1	
6	B	5	(3)	①	予想の検証のために必要な情報を選択し、問題解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)	(2)ア(ク)イ(ア)			○	○				76.7	
6	B	5	(3)	②	予想の検証のために必要な情報を選択し、問題解決の見通しをもとうとしている。	①ア(エ)	(2)ア(ク)イ(ア)			○	○				77.3	
6	B	6	(1)	ア	明治時代の国際的地位が向上した頃に活躍した人物を理解している	③ア	(2)ア(コ)	○			○				46.2	
6	B	6	(1)	イ	明治時代の国際的地位が向上した頃に活躍した人物を理解している	③ア	(2)ア(コ)	○			○				49.6	
6	B	6	(1)	ウ	明治時代の国際的地位が向上した頃に活躍した人物を理解している	③ア	(2)ア(コ)	○			○				64.1	
6	B	6	(1)	エ	明治時代の国際的地位が向上した頃に活躍した人物を理解している	③ア	(2)ア(コ)	○			○				48.6	
6	B	6	(2)		年表資料から条約改正についての情報を読み取り、その経緯を理解している。	①ア(カ)	(2)ア(コ)	○			○				63.4	
6	B	6	(3)		近代化に関わる事象を関連付けて、条約改正ができたころの日本の様子を考えている。	①ア(ク)	(2)ア(コ)イ(ア)		○		○				82.3	
6	B	7	(1)		2つのグラフから人数の変化や国名を読み取り、日本人と外国人の居住状況を理解している。	①ア(キ)	(3)ア(ア)(ウ)	○			○				83.0	
6	B	7	(2)	①	外国の伝統や文化に着目して、問いを見いだしている。	①ア(ア)	(3)ア(ア)		○				○		54.3	
6	B	7	(2)	②ア	日本の伝統や文化について、例を挙げて伝えようとている。	①ア(シ)	(3)イ(ア)			○			○		88.5	
6	B	7	(2)	②イ	日本の伝統や文化について、例を挙げて伝えようとている。	①ア(シ)	(3)イ(ア)			○			○		91.9	
6	B	7	(3)	①	目的を意識し、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(3)イ(ア)			○			○		68.6	
6	B	7	(3)	②	目的を意識し、さらに調べるべきことを考えようとしている。	①ア(オ)	(3)イ(ア)			○			○		33.8	
6	B	7	(4)		世界で起きている問題に関心をもっている	①ア(シ)				○	○		○		－	